

(様式第 10)

令和 2 年 がん研究 第 023 号
令和 2 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

公益財団法人がん研究会
開設者名 公益財団法人がん研究会
理事長 馬田 一夫

公益財団法人がん研究会 有明病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31
氏 名	公益財団法人がん研究会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

公益財団法人がん研究会 有明病院

3 所在の場所

〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31	電話 (03) 3520 -0111
--------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科		有		・		無	
内科と組み合わせた診療科名等							
1呼吸器内科		2消化器内科		3循環器内科		4腎臓内科	
5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科	
9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科	
診療実績							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名		
①呼吸器外科	②消化器外科	③乳腺外科
5血管外科	6心臓血管外科	7内分泌外科
4心臓外科		
8小児外科		
診療実績		

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	2小児科	③整形外科	4脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	7産婦人科
8産科	⑨婦人科	⑩眼科	11耳鼻咽喉科	⑫放射線科	⑬放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科		
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1乳腺内科	2腫瘍内科	3漢方内科	4疼痛緩和内科	5形成外科	6頭頸部外科	7病理診断科
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
0床	0床	0床	0床	686床	686床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	353人	36.4人	389.4人	看護補助者	85人	診療エックス線技師	人
歯 科 医 師	5人	2.8人	7.8人	理学療法士	10人	臨床検査技師	92人
薬 剤 師	74人	0.7人	74.7人	作業療法士	1人	衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	2人	その他	人
助 産 師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看 護 師	867人	5人	872人	臨床工学士	12人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	3人	0.8人	3.8人	栄 養 士	人	その他の技術員	47人
歯科衛生士	5人	人	5人	歯 科 技 工 士	人	事 務 職 員	266人
管理栄養士	19人	0.4人	19.4人	診療放射線技師	85人	その他の職員	24人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	18人	眼 科 専 門 医	2人
外 科 専 門 医	80人	耳鼻咽喉科専門医	9人
精 神 科 専 門 医	4人	放 射 線 科 専 門 医	26人
小 児 科 専 門 医	人	脳神経外科専門医	人
皮 膚 科 専 門 医	2人	整 形 外 科 専 門 医	6人
泌尿器科専門医	7人	麻 酔 科 専 門 医	30人
産婦人科専門医	25人	救 急 科 専 門 医	3人
		合 計	212人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (佐野 武) 任命年月日 2018年 7月 1日

医療安全管理委員会 委員

2016年 7月 1日 ～ 2018年 6月 30日 (2年間)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日当たり平均入院患者数	595.4人	0人	595.4人
1 日当たり平均外来患者数	1770.2人	54.5人	1824.7人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数	1467.9 剤		
必要医師数	162.93人		
必要歯科医師数	3人		
必要薬剤師数	20人		
必要（准）看護師数	359人		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施 設 名	床面積	主要構造	設 備	概 要
集中治療室	422.31m ²	S R C	病 床 数	10 床
			人工呼吸装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 209.89 m ² 台 数 0 台	病床数 26 床	
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床 積 47.06 m ² 共用する室名		
化学検査室	416.7 m ²	S R C	日立ラボスペクト008、日立ラボスペクト006、 アーキテクトi2000、ルミパルスプレスト、 ルミパルスG1200、ラボフレックス3500、コールターDXH、 STA-R、US-3100R、FOB IT-WAKO	
細菌検査室	78.25m ²	S R C	マイクロスキャンWalk Away 96、 コバスタqMan 48	
病理検査室	378m ²	S R C	免疫染色装置、FISH解析装置、DISH解析装置、HE自動染色装置、OSNA法による転移診断装置、PCR装置、PT-PCR装置、シーケンサー(Sanger型)など	
病理解剖室	72.25 m ²	S R C	写真診断装置、ストライカーなど	
研 究 室	1,519 m ²	S R C	(主な設備) 遺伝子解析システム、サーマルサイクラーなど	
講 義 室	370m ²	S R C	室数 3 室	収容定員 272 人
図 書 室	161.38m ²	S R C	室数 1 室	蔵 書 数 22,000 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		88.9%	逆紹介率		77.3%
算出根拠	A：紹介患者の数		9,719人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,109人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		758人		
	D：初診の患者の数		11,785人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
遠山 信幸	自治医科大学附属 さいたま医療セン ター教授	○	医療安全に関する 業務および研究へ の従事経験を有す るため	有・無	1（医師）
大滝 恭弘	帝京大学医療共通 教育研究センター 教授		法曹資格を有し、 医療安全に関する 研究を行っている ため	有・無	1（弁護士）
滝澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を 務めており、医療 を受ける者の立場 の代表となりえる ため	有・無	2（医療を受ける 者）
齊藤 彰一	公益財団法人がん 研究会有明病院		前職にて医療安全 管理業務に従事し た経験を有するた め	有・無	3（医師）
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法 公益財団法人がん研究会有明病院ホームページにて公表 https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	7人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
FOLFIRINOX療法 胆道がん(切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものに限る。)	4人
マルチプレックス遺伝子パネル検査 固形がん(根治切除が不可能又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 今回はなし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	56	ベーチェット病	2
2 筋萎縮性側索硬化症	57	特発性拡張型心筋症	
3 脊髄性筋萎縮症	58	肥大型心筋症	
4 原発性側索硬化症	59	拘束型心筋症	
5 進行性核上性麻痺	60	再生不良性貧血	2
6 パーキンソン病	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7 大脳皮質基底核変性症	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	
8 ハンチントン病	63	特発性血小板減少性紫斑病	5
9 神経有棘赤血球症	64	血栓性血小板減少性紫斑病	
10 シャルコー・マリー・トゥース病	65	原発性免疫不全症候群	
11 重症筋無力症	2	66 IgA 腎症	
12 先天性筋無力症候群	67	多発性嚢胞腎	
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	68	黄色靱帯骨化症	
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	69	後縦靱帯骨化症	1
15 封入体筋炎	70	広範脊柱管狭窄症	
16 クロウ・深瀬症候群	71	特発性大腿骨頭壊死症	
17 多系統萎縮症	72	下垂体性ADH分泌異常症	
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	73	下垂体性TSH分泌亢進症	
19 ライソゾーム病	74	下垂体性PRL分泌亢進症	
20 副腎白質ジストロフィー	75	クッシング病	
21 ミトコンドリア病	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	
22 もやもや病	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	
23 プリオン病	78	下垂体前葉機能低下症	1
24 亜急性硬化性全脳炎	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	
25 進行性多巣性白質脳症	80	甲状腺ホルモン不応症	
26 HTLV-1関連脊髄症	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	
27 特発性基底核石灰化症	82	先天性副腎低形成症	
28 全身性アミロイドーシス	83	アジソン病	
29 ウルリッヒ病	84	サルコイドーシス	1
30 遠位型ミオパチー	85	特発性間質性肺炎	
31 ベスレムミオパチー	86	肺動脈性肺高血圧症	
32 自己食空腔性ミオパチー	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	88	慢性血栓性肺高血圧症	
34 神経線維腫症	8	89 リンパ管筋腫症	
35 天疱瘡	90	網膜色素変性症	
36 表皮水疱症	91	バッド・キアリ症候群	
37 膿疱性乾癬(汎発型)	92	特発性門脈圧亢進症	
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	93	原発性胆汁性肝硬変	1
39 中毒性表皮壊死症	94	原発性硬化性胆管炎	1
40 高安動脈炎	95	自己免疫性肝炎	
41 巨細胞性動脈炎	96	クローン病	3
42 結節性多発動脈炎	97	潰瘍性大腸炎	28
43 顕微鏡的多発血管炎	98	好酸球性消化管疾患	
44 多発血管炎性肉芽腫症	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46 悪性関節リウマチ	101	腸管神経節細胞減少症	
47 バージャー病	1	102 ルビンシュタイン・ティビ症候群	
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	103	CFC症候群	
49 全身性エリテマトーデス	5	104 コステロ症候群	
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	105	チャージ症候群	
51 全身性強皮症	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52 混合性結合組織病	107	全身型若年性特発性関節炎	
53 シェーグレン症候群	108	TNF受容体関連周期性症候群	
54 成人スチル病	109	非典型溶血性尿毒症症候群	
55 再発性多発軟骨炎	110	ブラウ症候群	

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	161	家族性良性慢性天疱瘡	
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	
113 筋ジストロフィー	163	特発性後天性全身性無汗症	
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	164	眼皮膚白皮症	
115 遺伝性周期性四肢麻痺	165	肥厚性皮膚骨膜炎	
116 アトピー性脊髄炎	166	弾性線維性仮性黄色腫	
117 脊髄空洞症	167	マルファン症候群	
118 脊髄髄膜瘤	168	エーラス・ダンロス症候群	
119 アイザックス症候群	169	メンケス病	
120 遺伝性ジストニア	170	オクシピタル・ホーン症候群	
121 神経フェリチン症	171	ウィルソン病	
122 脳表ヘモジデリン沈着症	172	低ホスファターゼ症	
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	173	VATER症候群	
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	174	那須・ハコラ病	
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	175	ウィーバー症候群	
126 ペリー症候群	176	コフィン・ローリー症候群	
127 前頭側頭葉変性症	177	有馬症候群	
128 ビッカースタッフ脳幹脳炎	178	モワット・ウィルソン症候群	
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	179	ウィリアムズ症候群	
130 先天性無痛無汗症	180	ATR-X症候群	
131 アレキサンダー病	181	クルーゾン症候群	
132 先天性核上性球麻痺	182	アペール症候群	
133 メビウス症候群	183	ファイファー症候群	
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	184	アントレー・ビクスラー症候群	
135 アイカルディ症候群	185	コフィン・シリズ症候群	
136 片側巨脳症	186	ロスムンド・トムソン症候群	
137 限局性皮質異形成	187	歌舞伎症候群	
138 神経細胞移動異常症	188	多脾症候群	
139 先天性大脳白質形成不全症	189	無脾症候群	
140 ドラベ症候群	190	鰓耳腎症候群	
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	191	ウェルナー症候群	
142 ミオクロニー欠伸てんかん	192	コケイン症候群	
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	193	プラダー・ウィリ症候群	
144 レノックス・ガストー症候群	194	ソトス症候群	
145 ウエスト症候群	195	ヌーナン症候群	
146 大田原症候群	196	ヤング・シンブソン症候群	
147 早期ミオクロニー脳症	197	1p36欠失症候群	
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	198	4p欠失症候群	
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	199	5p欠失症候群	
150 環状20番染色体症候群	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	
151 ラスムッセン脳炎	201	アンジェルマン症候群	
152 PCDH19関連症候群	202	スミス・マギニス症候群	
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	203	22q11.2欠失症候群	
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	204	エマヌエル症候群	
155 ランドウ・クレフナー症候群	205	脆弱X症候群関連疾患	
156 レット症候群	206	脆弱X症候群	
157 スタージ・ウェーバー症候群	207	総動脈幹遺残症	
158 結節性硬化症	208	修正大血管転位症	
159 色素性乾皮症	209	完全大血管転位症	
160 先天性魚鱗癬	210	単心室症	

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
211	左心低形成症候群		259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
212	三尖弁閉鎖症		260	シトステロール血症	
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症		261	タンジール病	
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症		262	原発性高カイトミクロン血症	
215	ファロー四徴症		263	脳髄黄色腫症	
216	両大血管右室起始症		264	無 β リポタンパク血症	
217	エプスタイン病		265	脂肪萎縮症	
218	アルポート症候群		266	家族性地中海熱	
219	ギャロウェイ・モフト症候群		267	高IgD症候群	
220	急速進行性糸球体腎炎		268	中條・西村症候群	
221	抗糸球体基底膜腎炎		269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	
222	一次性ネフローゼ症候群		270	慢性再発性多発性骨髄炎	
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎		271	強直性脊椎炎	
224	紫斑病性腎炎		272	進行性骨化性線維異形成症	
225	先天性腎性尿崩症		273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)		274	骨形成不全症	
227	オスラー病		275	タナトフォリック骨異形成症	
228	閉塞性細気管支炎		276	軟骨無形成症	
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)		277	リンパ管腫症/ゴーム病	
230	肺胞低換気症候群		278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症		279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	
232	カーニー複合		280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
233	ウォルフラム症候群		281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)		282	先天性赤血球形成異常性貧血	
235	副甲状腺機能低下症		283	後天性赤芽球癆	
236	偽性副甲状腺機能低下症		284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症		285	ファンconi貧血	
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症		286	遺伝性鉄芽球性貧血	
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症		287	エプスタイン症候群	
240	フェニルケトン尿症		288	自己免疫性出血病XIII	
241	高チロシン血症1型		289	クローンカイト・カナダ症候群	
242	高チロシン血症2型		290	非特異性多発性小腸潰瘍症	
243	高チロシン血症3型		291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	
244	メープルシロップ尿症		292	総排泄腔外反症	
245	プロピオン酸血症		293	総排泄腔遺残	
246	メチルマロン酸血症		294	先天性横隔膜ヘルニア	
247	イソ吉草酸血症		295	乳幼児肝巨大血管腫	
248	グルコーストランスポーター1欠損症		296	胆道閉鎖症	
249	グルタル酸血症1型		297	アラジール症候群	
250	グルタル酸血症2型		298	遺伝性腭炎	
251	尿素サイクル異常症		299	嚢胞性線維症	
252	リジン尿性蛋白不耐症		300	IgG4関連疾患	
253	先天性葉酸吸収不全		301	黄斑ジストロフィー	
254	ポルフィリン症		302	レーベル遺伝性視神経症	
255	複合カルボキシラーゼ欠損症		303	アッシュヤー症候群	
256	筋型糖原病		304	若年発症型両側性感音難聴	
257	肝型糖原病		305	遅発性内リンパ水腫	
258	ガラクトースー1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症		306	好酸球性副鼻腔炎	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病		319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	
308	進行性白質脳症		320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	
309	進行性ミオクローヌスてんかん		321	非ケトーシス型高グリシン血症	
310	先天異常症候群		322	β -ケトチオラーゼ欠損症	
311	先天性三尖弁狭窄症		323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
312	先天性僧帽弁狭窄症		324	メチルグルタコン酸尿症	
313	先天性肺静脈狭窄症		325	遺伝性自己炎症疾患	
314	左肺動脈右肺動脈起始症		326	大理石骨病	
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症		327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	
316	カルニチン回路異常症		328	前眼部形成異常	
317	三頭酵素欠損症		329	無虹彩症	
318	シトリン欠損症		330	先天性気管狭窄症	

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施設基準の種類
・ 歯科外来診療環境体制加算 1
・ 特定機能病院入院基本料 7 : 1
・ 救急医療管理加算
・ 診療録管理体制加算 1
・ 医師事務作業補助体制加算 1 30 : 1
・ 急性期看護補助体制加算 50 : 1
・ 看護職員夜間配置加算 12 : 1 配置加算 1
・ 療養環境加算
・ 重症者等療養環境特別加算
・ 無菌治療室管理加算 1
・ 無菌治療室管理加算 2
・ 緩和ケア診療加算
・ 栄養サポートチーム加算
・ 医療安全対策加算 1
・ 感染防止対策加算 1 ー抗菌薬使用適正加算
・ 患者サポート充実体制加算
・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・ 後発医薬品使用体制加算 3
・ 病棟薬剤業務実施加算 1
・ 病棟薬剤業務実施加算 2
・ データ提出加算 2 及び 4
・ 入退院支援加算 1 ー入院時支援加算
・ 総合評価加算
・ せん妄ハイリスク患者ケア加算
・ 特定集中治療室管理料 3 ー早期離床・リハビリテーション加算 ー早期栄養介入管理加算
・ 緩和ケア病棟入院料 1
・
・

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類
・ 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・ がん性疼痛緩和指導管理料
・ がん患者指導管理料イ
・ がん患者指導管理料ロ
・ がん患者指導管理料ハ
・ がん患者指導管理料ニ
・ 婦人科特定疾患治療管理料
・ 外来緩和ケア管理料
・ 小児運動器疾患指導管理料
・ 夜間休日救急搬送医学管理料—救急搬送看護体制加算
・ 外来放射線照射診療料
・ ニコチン依存症管理料
・ 療養・就労両立支援指導料—相談支援加算
・ がん治療連携計画策定料
・ 薬剤管理指導料
・ 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
・ 医療機器安全管理料1
・ 医療機器安全管理料2
・ 遺伝学的検査
・ BRCA1／2遺伝子検査
・ がんゲノムプロファイリング検査
・ HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・ ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・ 検体検査管理加算(Ⅰ)
・ 検体検査管理加算(Ⅳ)
・ 国際標準検査管理加算
・ 遺伝カウンセリング加算
・ 遺伝性腫瘍カウンセリング加算

・ ロービジョン検査判断料
・ 画像診断管理加算1
・ 画像診断管理加算2
・ ホットロン断層・コンピューター断層複合撮影
・ CT撮影及びMRI撮影
・ 冠動脈CT撮影加算
・ 乳房MRI撮影加算
・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・ 外来化学療法加算1
・ 無菌製剤処理料
・ 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
・ 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・ 呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
・ がん患者リハビリテーション料
・ リンパ浮腫複合的治療料
・ 集団コミュニケーション療法料
・ 歯科口腔リハビリテーション料2
・ 処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1
・ 導入期加算1
・ CAD/CAM冠
・ センチネルリンパ節加算
・ 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算
・ 組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・ 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
・ 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・ 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・ 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・ 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(乳がんセンチネルリンパ節加算1)
・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(センチネルリンパ節生検(併用))
・ 乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・ 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・ 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・ 腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・ 腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・ 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・ 腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ 腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・ 腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・ 腹腔鏡下肝切除術
・ 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・ 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・ 腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ 腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・ 人工尿道括約筋植込・置換術
・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ 腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・ 手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1

胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) (医科点数表第2章第10部手術の通則の16に規定する手術)
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
輸血管理料Ⅱ
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
歯周組織再生誘導手術
麻酔管理料(Ⅰ)
麻酔管理料(Ⅱ)
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算
強度変調放射線治療(IMRT)
画像誘導放射線治療(IGRT)
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸移動対策加算
画像誘導密封小線源治療加算
病理診断管理加算2
デジタル病理画像による病理診断
悪性腫瘍病理組織標本加算
口腔病理診断管理加算2
クラウン・ブリッジ維持管理料
歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年5回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 8例 / 剖検率 1.7%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
1	3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」に関する教育と正しい情報伝達に関する研究	高橋 俊二	総合腫瘍科	300,000	補	厚生労働省
2	小児・AYA世代がん患者のサイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の均てん化に向けた臨床研究	大野 真司	乳腺センター	300,000	補	厚生労働省
3	間質応答を利用したホルモン受容体陽性乳がんの治療戦略の構築	上野貴之	乳腺外科	4,600,000	補	文部科学省
4	前立腺癌に対する高線量率組織内照射の多施設プラットフォーム構築と国際共同研究開始	吉岡靖生	放射線治療部	700,000	補	文部科学省
5	複合免疫療法に向けた各種抗がん剤の免疫抑制解除効果の検証とバイオマーカー探索研究	北野滋久	がん免疫治療開発部	1,748,715	補	文部科学省
6	癌化学療法における薬剤性心筋症発症に寄与する遺伝的素因ならびに心機能特性の解明	渡邊 直	総合診療部	500,000	補	文部科学省
7	子宮体癌時系列検体を用いた黄体ホルモン治療抵抗性・再発を規定する遺伝子変異の同定	杉山裕子	細胞診断部	500,000	補	文部科学省
8	頭頸部癌における腫瘍内免疫応答解析に基づく最適な複合的免疫治療の検討	仲野兼司	総合腫瘍科	500,000	補	文部科学省
9	3次元画像解析とプロジェクションマッピングを用いた乳房再建手術支援システムの開発	矢野智之	形成外科	600,000	補	文部科学省
10	遺伝子変異情報に基づいた大腸癌に対する新規治療戦略の開発	長山聡	消化器外科	900,000	補	文部科学省
11	基礎研究解析データに基づく大腸がん治療薬の非網羅的バイオマーカー検証研究	末永光邦	消化器内科	1,000,000	補	文部科学省
12	リキッドバイオプシーに基づく直腸癌術前放射線化学療法の効果予測法の開発	上野雅資	大腸外科	1,000,000	補	文部科学省
13	免疫ゲノム解析による直腸癌術前放射線化学療法の治療効果に寄与する免疫環境の解明	秋吉高志	大腸外科	1,000,000	補	文部科学省

13

14	胆汁を用いたリキッドバイオプシーの確立と胆管がん術前診断への応用	伊藤寛倫	消化器外科	1,000,000	補	文部科学省
15	抗VEGFR2抗体投与後早期のVEGF-A上昇の臨床的意義と新たな治療戦略の開発	若槻尊	消化器内科	2,000,000	補	文部科学省
16	体液試料からのオルガノイドによる化学療法の治療効果予測モデルの有用性	大木暁	消化器化学療法科	1,500,000	補	文部科学省
17	BRCAnessを利用した遺伝性乳がんの病理性予測・薬物療法効果予測法の確立	吉田玲子	遺伝子診療部	1,300,000	補	文部科学省
18	人工知能を使用した上部消化管内視鏡における食道癌診断の検討	由雄敏之	消化器内科	1,400,000	補	文部科学省
19	放射線照射により胃がん幹細胞に生じる免疫学的プロファイルの変化	熊谷厚志	消化器外科	1,400,000	補	文部科学省
20	非EBV非MSI-high食道胃接合部腺癌の免疫回避機構解明と新規免疫治療の開発	井田智	消化器外科	1,100,000	補	文部科学省
21	肥満合併食道癌における癌細胞-脂肪細胞間相互作用の解明と新規治療法の開発	渡邊雅之	消化器外科	1,100,000	補	文部科学省
22	胃がん術後補助療法に対する抵抗性を評価するバイオマーカーの開発	重松康之	病理部	500,000	補	文部科学省
23	乳癌における免疫モニタリングと新規免疫治療の開発	小野麻紀子	総合腫瘍科	800,000	補	文部科学省
24	子宮頸がん放射線治療におけるラジオミクス解析と標的体積縮小モデルの構築	中野正寛	放射線治療部	1,000,000	補	文部科学省
25	EGFR-C797S/T790M変異による多剤耐性の検出と克服の分子基盤研究	内堀健	呼吸器内科	1,200,000	補	文部科学省
26	スマートデバイスを用いたマイクロサージャリートレーニングシステムの開発	辛川領	形成外科	1,800,000	補	文部科学省
27	先端モデル動物支援プラットフォーム	牛嶋大	臨床研究・開発センター	410,000	補	文部科学省
28	骨軟部腫瘍における診断マーカーの同定と腫瘍概念の再構築を目指した融合遺伝子の探索	阿江啓介	整形外科	100,000	補	文部科学省

29	腸肝型ヘリコバクター感染と胆道がん・膵がんリスク	笹平直樹	消化器内科	300,000	補	文部科学省
30	革新的治療法開発を目指した抗癌剤耐性に関わる腸内細菌叢の網羅的探索	今村裕	消化器外科	100,000	補	文部科学省
31	個別化医療のための人工知能・深層学習に対する統計学的評価法の開発	牛嶋大	臨床研究・開発センター	200,000	補	文部科学省
32	大規模経時採取検体を用いた大腸がん肝転移巣の化学療法耐性化シグナルシフトの解明	長山聡	消化器外科	400,000	補	文部科学省
33	がんクリニカルシーケンス解析に基づいた「骨軟部腫瘍分子標的」の作用機序解明	北野滋久	がん免疫治療開発部	350,000	補	文部科学省
34	大腸癌におけるRNF43遺伝子による腫瘍増殖メカニズムの解明	今村裕	消化器外科	100,000	補	文部科学省
35	活性化ストローマ細胞とのクロストークを介した炎症性発癌メカニズムの解明	今村裕	消化器外科	50,000	補	文部科学省
36	直腸癌微小リンパ節転移検出による革新的直腸癌治療戦略の構築	今村裕	消化器外科	50,000	補	文部科学省
37	飲酒喫煙が食道癌診療に及ぼすリスクの包括的評価における平均赤血球容積の意義	今村裕	消化器外科	50,000	補	文部科学省
38	飲酒喫煙が食道癌診療に及ぼすリスクの包括的評価における平均赤血球容積の意義	渡邊雅之	消化器外科	100,000	補	文部科学省
39	腎細胞がんにおける炎症と免疫の関連メカニズムの解明とその新規免疫療法への応用	北野滋久	がん免疫治療開発部	200,000	補	文部科学省
40	レーザパルスジェットメスと血流画像計測を用いた形成外科皮弁形成術術中支援システム	矢野智之	形成外科	100,000	補	文部科学省
41	革新的治療法開発を目指した腸内細菌叢とサルコペニアの網羅的解析	今村裕	消化器外科	50,000	補	文部科学省
42	骨軟部腫瘍の「小胞体ストレス」機能解析に基づいた新規治療法開発	北野滋久	がん免疫治療開発部	100,000	補	文部科学省
43	直径1mmの血管吻合を容易にする顕微鏡下手術支援ロボットシステムの研究開発	大野真司	乳腺センター	1,153,860	委	日本医療研究開発機構

44	人工知能とデータ循環によって実現する、大腸内視鏡の革新的転換	斎藤彰一	下部消化管内科	275,200	委	日本医療研究開発機構
45	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	竹島信宏	婦人科	150,000	委	日本医療研究開発機構
46	シーズA123 乳がん温存手術における乳房形態の三次元予測システムの開発	上野貴之	乳腺外科	1,500,000	委	日本医療研究開発機構
47	産学連携全国がんゲノムスクリーニング(SCRUM-Japan)患者レジストリを活用したBRAF遺伝子変異陽性切除不能進行・再発大腸がんを対象にした医師主導治験	山口研成	消化器化学療法科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
48	転移膀胱癌に対する標準治療の確立に関する研究	尾阪将人	肝胆膵内科	0	委	日本医療研究開発機構
49	放射線治療の品質管理、ISRTの標準化手順の確立	小口正彦	放射線治療部	200,000	委	日本医療研究開発機構
50	次世代シーケンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	榊谷典子	呼吸器内科	1,800,000	委	日本医療研究開発機構
51	StageIV乳癌に対する予後の改善を目指した標準治療の確立に対する研究	原文堅	乳腺センター 乳腺内科	500,000	委	日本医療研究開発機構
52	乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援	矢野智之	形成外科	1,095,000	委	日本医療研究開発機構
53	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	阿江啓介	整形外科	230,000	委	日本医療研究開発機構
54	日本人BRCA未発症変異保持者に対する乳癌リスク低減手法の開発研究	吉田玲子	遺伝子診療部	600,000	委	日本医療研究開発機構
55	可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤を用いた標準治療確立に関する研究	角美奈子	放射線治療部	300,000	委	日本医療研究開発機構
56	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	高橋俊二	総合腫瘍科	798,381	委	日本医療研究開発機構
57	トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究	吉岡靖生	放射線治療部	269,000	委	日本医療研究開発機構
58	急速進行性がん患者・家族と医師の共感的コミュニケーション促進のための統合支援プログラムの有効性を検証する無作為化比較試験	尾阪将人	肝胆膵内科	1,099,200	委	日本医療研究開発機構

59	切除不能局所進行食道扁平癌を対象とした化学放射線療法後の逐次治療としての抗PD-1抗体薬療法の安全性・有効性・proof-of-concept (POC)を検討する多施設共同臨床第Ⅰb/Ⅱ相試験	山口研成	消化器化学療法科	2,000,000	委	日本医療研究開発機構
60	腎機能低下時、軽体重時におけるオシメルチニブ療法の薬物動態、用量反応関係を検討する第Ⅰ相試験	北園 聡	呼吸器内科	536,000	委	日本医療研究開発機構
61	早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな標準的フォローアップ法開発に関する研究	北川 大	乳腺センター乳腺外科	300,000	委	日本医療研究開発機構
62	SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAスクリーニングに基づくFGFR遺伝子異常を有する難治性の治癒切除不能な進行・再発固形がんに対するTAS-120のバスケット型医師主導治験	篠崎英司	消化器化学療法科	1,600,000	委	日本医療研究開発機構
63	根治が見込める癌に対する外科侵襲の軽減とQOL改善を目指した標準治療法確立のための多施設共同第三相試験、症例集積・登録・班会議での討論	高橋 祐	肝胆膵外科	500,000	委	日本医療研究開発機構
64	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準療法に関する研究	陳 勁松	消化器化学療法科	200,000	委	日本医療研究開発機構
65	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン＋S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン＋ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第Ⅱ相試験	西尾誠人	呼吸器内科	200,000	委	日本医療研究開発機構
66	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験	大橋 学	消化器外科	200,000	委	日本医療研究開発機構
67	「頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する研究(症例登録および臨床試験の進捗管理)	三谷浩樹	頭頸科	153,847	委	日本医療研究開発機構
68	StageⅠ/Ⅱ舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意識を検証するための多施設共同臨床試験	福島啓文	頭頸科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
69	高度腹膜転移胃癌に対する標準化学療法法の確立に関する研究	山口研成	消化器化学療法科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
70	小児及びAYA世代の横紋筋肉腫およびユーイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	角美奈子	放射線治療部	400,000	委	日本医療研究開発機構
71	臨床病期Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ食道癌(T4を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第Ⅲ相試験	渡邊雅之	消化器外科	100,000	委	日本医療研究開発機構
72	局所進行胃癌に対する術前科学療法の有効性を検証する臨床第Ⅲ相試験	布部創也	消化器外科	600,000	委	日本医療研究開発機構
73	RET肺がんに対するアレクチニブの医師主導治験(ALL-RET)の実施、ALL-RETの治療完遂	西尾誠人	呼吸器内科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構

74	乳癌患者におけるrMV-SLAMblindを用いたウイルス療法 の第一相臨床試験計画(臨床試験実施計画書)の作成	高橋俊二	総合腫瘍科	2,000,000	委	日本医療研究開発 機構
75	リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リン パ節郭清確立のための多施設共同臨床試験	竹島信宏	婦人科	300,000	委	日本医療研究開発 機構
76	膵がん微小環境における免疫抑制ネットワーク機構の解 明に基づく新規免疫療法の開発	北野滋久	先端医療開発セン ター がん免疫治療開発 部	857,270	委	日本医療研究開発 機構
77	TCR多様性に基づく免疫チェックポイント阻害薬の治療 効果予測に関する研究	北野滋久	先端医療開発セン ター がん免疫治療開発 部	0	委	日本医療研究開発 機構
78	切除組織培養分泌エクソソームの網羅的解析によるがん 早期診断薬開発	長山 聡	消化器外科	4,800,000	委	日本医療研究開発機構 (次世代がん)
79	非小細胞肺癌がんの収集ならびに悪性黒色腫、非小細胞 肺癌およびATLLのエクソーム・トランスクリプトーム解析	西尾誠人	呼吸器内科	33,718,462	委	日本医療研究開発機構 (次世代がん)
80	NGS技術を駆使した遺伝学的解析にせる家族性乳がん の原因遺伝子と同定と標準化医療構築	大野 真司	乳腺センター	49,000,000	委	日本医療研究開発機構 (次世代がん)
81	DDS技術を基盤とした革新的がん治療法の開発	高橋 俊二	総合腫瘍科	34,040,000	委	日本医療研究開発機構 (次世代がん)
82	腸内細菌を指標とした大腸がんの早期診断方法の開発	長山 聡	消化器外科	5,500,000	委	日本医療研究開発機構 (次世代がん)
83	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	布部創也	消化器外科	600,000	委	国立がん研究センター
84	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	寺内隆司	核医学部	2,500,000	委	国立がん研究センター
85	外科手術前後補助薬療法早期臨床試験の研究体制 確立に関する研究	小西 毅	大腸外科	200,000	委	国立がん研究センター
86	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	尾阪将人	肝胆膵内科	0	委	国立がん研究センター
87	経血管治療IVRに関する研究	松枝 清	画像診断部	0	委	国立がん研究センター

14

計87件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度
に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入
すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Takamatsu, M., Kawachi, H., Yamamoto, N., et al.	病理部	Immunohistochemical evaluation of tumor budding for stratifying T1 colorectal cancer: optimal cut-off value and a novel computer-assisted semiautomatic method.	Mod. Pathol., 32 (5): 675-683, 2019 May	Original Article
2	Akiyoshi, T., Tanaka, N., Kiyotani, K., et al.	大腸外科	Immunogenomic profiles associated with response to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with rectal cancer.	Br. J. Surg., 106 (10): 1381-1392, 2019 Sep	Original Article
3	Okada, K., Suzuki, S., Naito, S. et al.	内視鏡診療部	Incidence of metachronous gastric cancer in patients whose primary gastric neoplasms were discovered after <i>Helicobacter pylori</i> eradication.	J. Gastroenterol., 54 (8): 708-717, 2019 Aug	Original Article
4	Yasue, C., Chino, A., Takamatsu, M., et al.	下部消化管内科	Pathological risk factors and predictive endoscopic factors for lymph node metastasis of T1 colorectal cancer: a single-center study of 846 lesions.	J. Gastroenterol., 54 (8): 708-717, 2019 Aug	Original Article
5	Ogura, A., Konishi, T., Beets, G. L., et al.	大腸外科	Lateral nodal features on restaging magnetic resonance imaging associated with lateral local recurrence in low rectal cancer after neoadjuvant chemoradiotherapy or radiotherapy.	JAMA Surg., 154 (9): e192172, 2019 Sep (オンライン)	Original Article
6	Horiuchi, Y., Ida, S., Yamamoto, N. et al.	上部消化管内科	Feasibility of further expansion of the indications for endoscopic submucosal dissection in undifferentiated-type early gastric cancer.	Gastric Cancer, 23 (2): 285-292, 2020 Mar	Original Article
7	Kano, Y., Ohashi, M., Ida, S. et al.	胃外科	Oncological feasibility of laparoscopic subtotal gastrectomy compared with laparoscopic proximal or total gastrectomy for cT1N0M0 gastric cancer in the upper gastric body.	Gastric Cancer, 22 (5): 1060-1068, 2019 Sep	Original Article
8	Osumi, H., Shinozaki, E., Wakatsuki, T., et al.	消化器化学療法科	Non-V600E BRAF mutations and EGFR signaling pathway in colorectal cancer.	Int. J. Cancer, 145 (9): 1488-1495, 2019 Nov	Original Article
9	Ri, M., Hiki, N., Ishizuka, N., et al.	胃外科	Duodenal stump reinforcement might reduce both incidence and severity of duodenal stump leakage after laparoscopic gastrectomy with Roux-en-Y reconstruction for gastric cancer.	Gastric Cancer, 22 (5): 1053-1059, 2019 Sep	Original Article
10	Nakayama, I., Shinozaki, E., Sakata, S. et al.	消化器化学療法科	Enrichment of <i>CLDN18-ARHGAP</i> fusion gene in gastric cancers in young adults.	Cancer Sci., 110 (4): 1352-1363, 2019 Apr	Original Article

11	Kanao, H., Omi, M., Takeshima, N.	婦人科	Step-by-step demonstration of laparoscopic laterally extended endopelvic resection for a recurrent endometrial cancerous tumor at a sciatic foramen, with a detailed explanation of the pelvic sidewall anatomy.	Gynecol. Oncol., 156 (1): 260-261, 2020 Jan	Original Article
12	Osumi, H., Kawachi, H., Murai, K., et al.	消化器化学療法科	Risk stratification for lymph node metastasis using Epstein-Barr virus status in submucosal invasive (pT1) gastric cancer without lymphovascular invasion: a multicenter observational study.	Gastric Cancer, 22 (6): 1176-1182, 2019 Nov	Original Article
13	Kitazono, S., Sakai, K., Yanagitani, N., et al.	呼吸器内科	Barcode sequencing identifies resistant mechanisms to epidermal growth factor receptor inhibitors in circulating tumor DNA of lung cancer patients.	Cancer Sci., 110 (10): 3350-3357, 2019 Oct	Original Article
14	Suenaga, M., Cao, S., Zhang, W., et al.	消化器化学療法科	Genetic variants in <i>CCL5</i> and <i>CCR5</i> genes and serum VEGF-A levels predict efficacy of bevacizumab in metastatic colorectal cancer patients.	Int. J. Cancer, 144 (10): 2567-2577, 2019 May	Original Article
15	Takahari, D., Chin, K., Ishizuka, N.	消化器化学療法科	Multicenter phase II study of trastuzumab with S-1 plus oxaliplatin for chemotherapy-naïve, HER2-positive advanced gastric cancer.	Gastric Cancer, 22 (6): 1238-1248, 2019 Nov	Original Article
16	Yanagitani, N., Uchibori, K., Koike, S.	呼吸器内科	Drug resistance mechanisms in Japanese ALK positive NSCLC and the clinical responses based on the resistant mechanisms.	Cancer Sci., 111 (3): 932-939, 2020 Mar	Original Article
17	Yamaguchi, K., Komatsu, Y., Satoh, T., et al.	消化器化学療法科	Large-scale, prospective observational study of regorafenib in Japanese patients with metastatic colorectal cancer in a real-world clinical setting.	Oncologist, 24 (7): e450-e457, 2019 Jun (オンライン)	Original Article
18	Yasufuku, I., Nunobe, S., Ida, S.	胃外科	Conversion therapy for peritoneal lavage cytology-positive type 4 and large type 3 gastric cancer patients selected as candidates for R0 resection by diagnostic staging laparoscopy.	Gastric Cancer, 23 (2): 319-327, 2020 Mar	Original Article
19	Shoji, Y., Nunobe, S., Ida, S., et al.	胃外科	Surgical outcomes and risk assessment for anastomotic complications after laparoscopic proximal gastrectomy with double-flap technique for upper-third gastric cancer.	Gastric Cancer, 22 (5): 1036-1043, 2019 Sep	Original Article
20	Nunobe, S., Oda, I., Ishikawa, et al.	胃外科	Surgical outcomes of elderly patients with stage I gastric cancer from the nationwide registry of the Japanese Gastric Cancer Association.	Gastric Cancer, 23 (2): 328-338, 2020 08	Original Article
21	Takahari, D., Ito, S., Mizusawa, J., et al.	消化器化学療法科	Long-term outcomes of preoperative docetaxel with cisplatin plus S-1 therapy for gastric cancer with extensive nodal metastasis (JCOG1002).	Gastric Cancer, 23 (2): 293-299, 2020 Mar	Original Article
22	Nishio, M., Sugawara, S., Atagi, S., et al.	呼吸器内科	Subgroup analysis of Japanese patients in a phase III study of atezolizumab in extensive-stage small-cell lung cancer (IMpower133)	Clin. Lung Cancer, 20 (6): 469-476, 2019 Nov	Original Article
23	Osumi, H., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., et al.	消化器化学療法科	Early change in circulating tumor DNA as a potential predictor of response to chemotherapy in patients with metastatic colorectal cancer.	Sci. Rep., 9 (1): 17358, 2019 Nov(オンライン)	Original Article

24	Takamatsu, M., Yamamoto, N., Kawachi, H., et al.	病理部	Prediction of early colorectal cancer metastasis by machine learning using digital slide images.	Comput. Methods Programs Biomed., 178: 155-161, 2019 Sep	Original Article
25	Konishi, T., Shinozaki, E., Murofushi, K., et al.	大腸外科	Phase II trial of neoadjuvant chemotherapy, chemoradiotherapy, and laparoscopic surgery with selective lateral node dissection for poor-risk low rectal cancer.	Ann. Surg. Oncol., 26 (8): 2507-2513, 2019	Original Article
26	Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., et al.	上部消化管内科	Pretreatment diagnosis factors associated with overtreatment with surgery in patients with differentiated-type early gastric cancer.	Sci. Rep., 9: 15356, 2019 Oct (オンライン)	Original Article
27	Yagi, S., Wakatsuki, T., Yamamoto, N., et al.	胃外科	Clinical significance of intratumoral HER2 heterogeneity on trastuzumab efficacy using endoscopic biopsy specimens in patients with advanced HER2 positive gastric cancer.	Gastric Cancer, 22 (3): 518-525, 2019 May	Original Article
28	Sugiyama, Y., Gotoh, O., Fukui, N., et al.	婦人科	Two distinct tumorigenic processes in endometrial endometrioid adenocarcinoma.	Am. J. Pathol., 190 (1): 234-251, 2020 Jan	Original Article
29	Ohno, S., Mukai, H., Narui, K., et al.	乳腺外科	Participants in a randomized controlled trial had longer overall survival than non-participants: a prospective cohort study	Breast Cancer Res. Treat., 176 (3): 631-635, 2019 Aug	Original Article
30	Tominaga, T., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., et al.	大腸外科	Prognostic value of metastatic lymph node regression grade after neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer.	Surgery, 166 (6): 1061-1067, 2019 Dec	Original Article
31	Tsutsumida, A., Fukushima, S., Yokota, K., et al.	皮膚科	Japanese real-world study of sequential nivolumab and ipilimumab treatment in melanoma.	J. Dermatol., 46 (11): 947-955, 2019 Nov	Original Article
32	Tanaka, M., Inoue, Y., Matsueda, K., et al.	肝胆膵外科	Three-dimensional fixation: Pathological protocol following pancreaticoduodenectomy with portal vein resection for pancreatic cancer.	J. Gastrointest. Surg., 24 (3): 619-626, 2020 Mar	Original Article
33	Murakami, Y., Magome, T., Matsubayashi, F., et al.	放射線治療部	Evaluation of organ-at-risk dose reduction with jaw tracking technique in flattening filter-free beams in lung stereotactic body radiation therapy.	Phys. Med., 61: 70-76, 2019 May	Original Article
34	Fujiwara, R., Inamura, K., Yuasa, T., et al.	泌尿器科	Efficacy and safety profile of nivolumab for Japanese patients with metastatic renal cell cancer.	Int. J. Clin. Oncol., 25 (1): 151-157, 2020 Jan	Original Article

35	Hiraide, M., Shiga, T., Minowa, Y., et al.	薬剤部	Identification of risk factors for venous thromboembolism and evaluation of Khorana venous thromboembolism risk assessment in Japanese lung cancer patients	J. Cardiol., 75 (1): 110-114, 2020 Jan	Original Article
36	Sonoda, D., Matsuura, Y., Ichinose, J., et al.	呼吸器外科	Ultra-late recurrence of non-small cell lung cancer over 10 years after curative resection.	Cancer Manag. Res., 11: 6765-6774, 2019 Jul (オンライン)	Original Article
37	Ueno, T., Masuda, N., Sato, N., et al.	乳腺外科	Multicenter study of primary systemic therapy with docetaxel, cyclophosphamide and trastuzumab for HER2-positive operable breast cancer: the JBCRG-10 study.	Jpn. J. Clin. Oncol, 50 (1): 3-11, 2020 Jan	Original Article
38	Hirayama, Y., Fujisaki, J., Yoshimizu, S., et al.	食道外科	Efficacy and safety of endoscopic resection for gastric tube cancer after surgical resection of esophageal squamous cell carcinoma.	Esophagus, 16 (2): 194-200, 2019 Apr	Original Article
39	Oba, A., Inoue, Y., Ono, Y., et al.	肝胆膵外科	Radiologically occult metastatic pancreatic cancer: how can we avoid unbeneficial resection?	Langenbecks Arch. Surg., 405 (1): 35-41, 2020 Feb	Original Article
40	Kobayashi, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., et al.	薬剤部	Association of hand-foot skin reaction with regorafenib efficacy in the treatment of metastatic colorectal cancer	Oncology, 96 (4): 200-206, 2019 Apr	Original Article
41	Takahashi, K., Mine, S., Kozuki, R., et al.	食道外科	Ivor-Lewis esophagectomy for patients with squamous cell carcinoma of the thoracic esophagus with a history of total pharyngolaryngectomy	Esophagus, 16 (4): 382-385, 2019 Oc	Original Article
42	Suzuki, S., Fukunaga, Y., Tamegai, Y., et al.	大腸外科	The short-term outcomes of laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for colorectal tumors (LECS-CR) in cases involving endoscopically unresectable colorectal tumors	Surg. Today, 49 (12): 1051-1057, 2019 Dec	Original Article
43	Ichida, H., Mise, Y., Ito, H., et al.	肝胆膵外科	Optimal indication criteria for neoadjuvant chemotherapy in patients with resectable colorectal liver metastases.	World J. Surg. Oncol., 17 (1): 100, 2019 Jun (オンライン)	Original Article
44	Shimada, S., Yoshida, R., Nakashima, E., et al.	上部消化管内科	Efficacy of novel sedation using the combination of dexmedetomidine and midazolam during endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma.	Esophagus, 16 (3): 285-291, 2019 Aug	Original Article
45	Yoshimatsu, H., Yamamoto, T., Hayashi, et al.	形成外科	Use of the transverse branch of the superficial circumflex iliac artery as a landmark facilitating identification and dissection of the deep branch of the superficial circumflex iliac artery for free flap pedicle: Anatomical study and clinical applications	Microsurgery, 39 (8): 721-729, 2019 Nov	Original Article

46	Yasuoka, S., Yuasa, T., Nishimura, N., et al.	泌尿器科	Initial experience of pembrolizumab therapy in Japanese patients with metastatic urothelial cancer.	Anticancer Res., 39 (7): 3887-3892, 2019 Jun	Original Article
47	Kawaguchi, K., Nakano, K., Urasaki, T., et al.	総合腫瘍科	Retrospective analysis of trabectedin therapy for soft tissue sarcoma.	In Vivo, 33 (5): 1609- 1614, 2019 Sep	Original Article
48	Nakano, K., Seto, A., Sasaki, T., et al.	総合腫瘍科	Predictive factors for completion of TPF induction chemotherapy in patients with locally advanced head and neck cancer.	Anticancer Res., 39 (8): 4337-4342, 2019 Aug	Original Article
49	Miki, H., Fukunaga, Y., Nagasaki, T., et al.	大腸外科	Feasibility of needlescopic surgery for colorectal cancer: safety and learning curve for Japanese Endoscopic Surgical Skill Qualification System-unqualified young surgeon	Surg. Endosc., 34 (2): 752- 757, 2020 Feb	Original Article
50	Takano, N., Ariyasu, R., Koyama, J., et al.	呼吸器内科	Improvement in the survival of patients with stage IV non-small-cell lung cancer: Experience in a single institutional 1995-2017.	Lung Cancer, 131: 69-77, 2019 May	Original Article
51	Takahashi, R., Ohashi, M., Kano, Y., et al.	胃外科	Timing and site-specific trends of recurrence in patients with pathological stage II or III gastric cancer after curative gastrectomy followed by adjuvant S-1 monotherapy.	Gastric Cancer, 22 (6): 1256-1262, 2019 Nov	Original Article
52	Okamura, A., Watanabe, M., Kozuki, R., et al.	食道外科	Significance of intramural metastasis in patients with esophageal squamous cell carcinoma: An indicator of aggressive cancer behavior.	World J. Surg., 43 (8): 1997-2005, 2019 Aug	Original Article
53	Wakejima, R., Inamura, K., Ninomiya, H., et al.	病理部	Mucinous lung adenocarcinoma, particularly referring to <i>EGFR</i> -mutated mucinous adenocarcinoma.	Pathol. Int., 70 (2): 72-83, 2020 Feb	Original Article
54	Suzuki, S., Akiyoshi, T., Oba, K., et al.	大腸外科	Comprehensive comparative analysis of prognostic value of systemic inflammatory biomarkers for patients with stage II/III colon cancer.	Ann. Surg. Oncol., 27 (3): 844-852, 2020 Mar	Original Article
55	Yokoyama, M., Kusano, Y., Nishihara, A., et al.	血液腫瘍科	Incidence and risk factors for febrile neutropenia in Japanese patients with non-Hodgkin B cell lymphoma receiving R-CHOP: 2-year experience in a single center (STOP FN in NHL 2	Support. Care Cancer, 28 (2): 571-579, 2020 Feb	Original Article
56	Okamura, A., Hayami, M., Kozuki, R., et al.	食道外科	Salvage esophagectomy for initially unresectable locally advanced T4 esophageal squamous cell carcinoma.	Esophagus, 17 (1): 59-66, 2020 Jan	Original Article

57	Tominaga, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., et al.	大腸外科	Feasibility of neoadjuvant therapy for elderly patients with locally advanced rectal cancer.	Surg. Today, 49 (8): 694-703, 2019 Aug	Original Article
58	Kamima, T., Ueda, Y., Fukunaga, J. I., et al.	放射線治療部	Multi-institutional evaluation of knowledge-based planning performance of volumetric modulated arc therapy (VMAT) for head and neck cancer.	Phys. Med., 64: 174-181, 2019 Aug	Original Article
59	Saiki, M., Yoshizawa, T., Dotsu, Y., et al.	呼吸器内科	Correlation between serum adenosine deaminase activity and efficacy of anti-programmed cell death-1 antibody.	Lung Cancer, 133: 4-9, 2019 Jul	Original Article
60	Oba, A., Inoue, Y., Sato, T., et al.	肝胆膵外科	Impact of indocyanine green-fluorescence imaging on distal pancreatectomy with celiac axis resection combined with reconstruction of the left gastric artery.	HPB (Oxford), 21 (5): 619-625, 2019 May	Original Article
61	Suzuki, T., Shinozaki, E., Osumi, H., et al.	消化器化学療法科	Second-line FOLFIRI plus ramucirumab with or without prior bevacizumab for patients with metastatic colorectal cancer.	Cancer Chemother. Pharmacol., 82 (4): 307-313, 2019 Aug	Original Article
62	Ichinose, J., Mun, M., Matsuura, Y., et al.	呼吸器外科	Efficiency of thoroscopic palpation in localizing small pulmonary nodules.	Surg. Today, 49 (11): 921-926, 2019 Nov	Original Article
63	Watanabe, M., Nakajima, M., Nishikawa, K., et al.	食道外科	Thoracic endovascular aortic repair for esophageal cancer invading the thoracic aorta: a questionnaire survey study.	Esophagus, 17 (1): 74-80, 2020 Jan	Original Article
64	Watanabe, M., Sato, M., Fukuchi, et al.	食道外科	Treatment of aortoesophageal fistula developed after thoracic endovascular aortic repair: a questionnaire survey study.	Esophagus, 17 (1): 81-86, 2020 Jan	Original Article
65	Minami, Y., Matsumoto, S., Ae, K., et al.	整形外科	The extracompartmental tumoral invasion of extraskeletal myxoid chondrosarcoma induces distant metastasis	Anticancer Res., 40 (2): 1035-1039, 2020 Jan	Original Article
66	Koizumi, M., Motegi, K., Umeda, T.	核医学部	A novel biomarker, active whole skeletal total lesion glycolysis (WS-TLG), as a quantitative method to measure bone metastatic activity in breast cancer patients	Ann. Nucl. Med., 33 (7): 502-11, 2019 Jul	Original Article
67	Yamasaki, A., Shimizu, T., Kawachi, H., et al	上部消化管内科	Endoscopic features of esophageal adenocarcinoma derived from short-segment versus long-segment Barrett's esophagus.	J. Gastroenterol. Hepatol., 35 (2): 211-217, 2020 Feb	Original Article

68	Kanao, H., Matsuo, K., Aoki, Y., et al.	婦人科	Feasibility and outcome of total laparoscopic radical hysterectomy with no-look no-touch technique for FIGO IB1 cervical cancer.	J. Gynecol. Oncol., 30 (3): e71, 2019 May (オンライン)	Original Article
69	Horiuchi, Y., Tokai, Y., Yamamoto, N., et al.	上部消化管内科	Addictive effect of magnifying endoscopy with narrow-band imaging for diagnosing mixed-type early gastric cancers.	Dig. Dis. Sci., 65 (2): 591- 599, 2020 Feb	Original Article
70	Hasegawa, T., Yanagitani, N., Utsumi, H., et al.	呼吸器内科	Association of high neutrophil-to-lymphocyte ratio with poor outcomes of pembrolizumab therapy in high-PD-L1-expressing non-small cell lung cancer.	Anticancer Res., 39 (12): 6851-6857, 2019 Dec	Original Article
71	Yunokawa, M., Sasada, S., Takehara, Y., et al.	総合腫瘍科	Real-world data on initial treatment strategies for older adult patients with endometrial cancer in Japan.	Cancer Chemother. Pharmacol., 84 (5): 1051- 1058, 2019 Nov	Original Article
72	Watanabe, G., Mise, Y., Ito, H., et al.	肝胆膵外科	Repeat hepatectomy for early recurrence of colorectal liver metastases-prognostic impacts assessed from the recurrence pattern.	World J. Surg., 44 (1): 268-276, 2020 Jan	Original Article
73	Mine, S., Watanabe, M., Kumagai, K., et al.	食道外科	Comparison of mediastinal lymph node metastases from adenocarcinoma of the esophagogastric junction versus lower esophageal squamous cell carcinoma with involvement of the esophagogastric junction	Dis. Esophagus, 32 (11): doz002, 2019 Dec (オンライン)	Original Article
74	Nakao, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., et al.	呼吸器外科	Long-term oncological outcome after thoracoscopic lobectomy for non-small cell lung cancer patients.	J. Thorac. Dis., 11 (7): 3112-3121, 2019 Jul	Original Article
75	Murofushi, K. N., Yoshioka, Y., Ichikawa, H. t al.	放射線治療部	Selection criteria and clinical outcomes of patients with asymmetrical cervical cancer treated with various high-dose-rate brachytherapy techniques	Anticancer Res., 40 (2): 999-1006, 2020 Jan	Original Article
76	Okamura, A., Yamashita, K., Kozuki, R., et al.	食道外科	Inflammatory response and recurrence after minimally invasive esophagectomy.	Langenbecks Arch. Surg., 404 (6): 761-769, 2019 Sep	Original Article
77	Tanaka, Y. O., Takazawa, Y., Matsuura, M., et al.	画像診断部	MR imaging of secondary massive ovarian edema caused by ovarian metastasis from appendiceal adenocarcinoma	Magn. Reson. Med. Sci., 18 (2): 111-112, 2019 Apr	Original Article
78	Matsuda, T., Ohashi, M., Tsujiura, M., et al.	胃外科	Shorter survival of patients with upper-third gastric cancer preoperatively diagnosed as stage IA compared with those with middle to lower lesions.	Ann. Surg. Oncol., 27 (1): 276-283, 2020 Jan	Original Article

79	Kanao, H., Aoki, Y., Tanigawa, T., et al.	婦人科	En bloc resection of an aggressive angiomyxoma by a novel combination laparoscopic and open perineal approach.	J. Minim. Invasive Gynecol., 26 (4): 598-599, 2018 (オンライン)	Original Article
80	Tozuka, T., Kitazono, S., Sakamoto, H., et al.	呼吸器内科	Dissociated responses at initial computed tomography evaluation is a good prognostic factor in non-small cell lung cancer patients treated with anti-programmed cell death-1/ligand 1 inhibitors.	BMC Cancer, 20 (1): 207, 2020 Mar (オンライン)	Original Article
81	Ogawa, M., Yamamoto, S., Inoue, T., et al.	泌尿器科	Phase II study of second-line chemotherapy with paclitaxel, gemcitabine, and cisplatin for advanced urothelial carcinoma.	Anticancer Res., 40 (3): 1613-1618, 2020 Mar	Original Article
82	Kitagawa, Y., Osumi, H., Shinozaki, E., et al.	消化器化学療法科	Safety and efficacy of amrubicin monotherapy in patients with platinum-refractory metastatic neuroendocrine carcinoma of the gastrointestinal tract: a single cancer center retrospective study.	Cancer Manag. Res., 11: 5757-5764, 2019 Jul	Original Article
83	Amino, Y., Kitazono, S., Uematsu, S., et al.	呼吸器内科	Efficacy of anti-PD-1 therapy for recurrence after chemoradiotherapy in locally advanced NSC LC.	Int. J. Clin. Oncol., 25 (1): 67-73, 2020 Jan	Original Article
84	Sato, A., Sakai, T., Iwase, T., et al.	乳腺外科	Altered lymphatic drainage patterns in re-operative sentinel lymph node biopsy for ipsilateral breast tumor recurrence.	Radiat. Oncol., 14 (1): 159, 2019 Sep (オンライン)	Original Article
85	Yokokawa, T., Suzuki, K., Sugisaki, T., et al.	薬剤部	Impact of primary pegfilgrastim prophylaxis on relative dose intensity in neoadjuvant/adjuvant FEC-100 chemotherapy	Anticancer Res., 40 (2): 915-921, 2020 Feb	Original Article
86	Nomura, H., Sekine, M., Yokoyama, S., et al.	婦人科	Clinical background and outcomes of risk-reducing salpingo-oophorectomy for hereditary breast and ovarian cancers in Japan.	Int. J. Clin. Oncol., 24 (9): 1105-1110, 2019 Sep	Original Article
87	Inamura, K., Amori, G., Yuasa, T., et al.	病理部	Relationship of B7-H3 expression in tumor cells and tumor vasculature with FOXP3+ regulatory T cells in renal cell carcinoma.	Cancer Manag. Res., 11: 7021-7030, 2019 Jul	Original Article
88	Kawakami, K., Wakatsuki, T., Soejima, A., et al.	薬剤部	Factors associated with regorafenib adherence with metastatic colorectal cancer.	Patient Prefer. Adherence., 13: 1745-1750, 2019 Oct	Original Article
89	Koyama, J., Horiike, A., Yoshizawa, T., et al.	呼吸器内科	Correlation between thyroid transcription factor-1 expression, immune-related thyroid dysfunction, and efficacy of anti-programmed cell death protein-1 treatment in non-small cell lung cancer.	J. Thorac. Dis., 11 (5): 1919-1928, 2019 May	Original Article

90	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Fuse, Y., et al.	形成外科	The correlation of the perforators and the accessory saphenous vein in a profunda femoris artery perforator flap for additional venous anastomosis: A cadaveric study and clinical application.	Microsurgery, 40 (2): 200-206, 2020 Feb	Original Article
91	Minami, Y., Matsumoto, S., Ae, K., et al.	整形外科	The role of neoadjuvant chemotherapy in resectable primary synovial sarcoma.	Anticancer Res., 40 (2): 1029-1034, 2020 Feb	Original Article
92	Fukuda, N., Wang, X., Ohmoto, A., et al.	総合腫瘍科	Sequential Analysis of Neutrophil-to-lymphocyte Ratio for Differentiated Thyroid Cancer Patients Treated With Lenvatinib.	In Vivo, 34 (2): 709-714, 2020 Mar	Original Article
93	Harada, S., Ohkushi, D., Nakano, K., et al.	感染症科	Fatal invasive pulmonary aspergillosis caused by voriconazole-resistant <i>Aspergillus tubingensis</i> in a patient with solid tumor.	J. Infect. Chemother., 26 (3): 301-304, 2020	Original Article
94	Naito, K., Shigematsu, Y., Fujiwara, Y., et al.	超音波検査部	Identification of a specific ultrasonographic finding for differentiating hepatic angiomyolipoma from hepatocellular carcinoma.	Clin. Imag., 59 (2): 104-108, 2020 Feb	Original Article
95	Nakano, K., Ae, K., Matsumoto, S., et al.	総合腫瘍科	Retrospective analysis of treatment patterns among recurrent/metastatic soft tissue sarcoma patients who consulted medical oncologists in Japan.	J. Orthop. Sci., 24 (6): 1081-1087, 2019 Nov	Original Article
96	Yasuoka, S., Yuasa, T., Ogawa, M., et al.	泌尿器科	Risk factors for poor survival in metastatic castration-resistant prostate cancer treated with cabazitaxel in Japan.	Anticancer Res., 39 (10): 5803-5809, 2019 Oct	Original Article
97	Hiraide, M., Minowa, Y., Nakano, Y., et al.	薬剤部	Drug interactions between tyrosine kinase inhibitors (gefitinib and erlotinib) and warfarin: Assessment of international normalized ratio elevation characteristics and <i>in vitro</i> CYP2C9 activity.	J. Oncol. Pharm. Pract., 25 (7): 1599-1607, 2019 Oct	Original Article
98	Kawashima, Y., Nishikawa, S., Ninomiya, H., et al.	呼吸器内科	Lung adenocarcinoma with Lynch syndrome and the response to nivolumab.	Intern. Med., 58 (10): 1479-1484, 2019 Oct	Original Article
99	Shoji, Y., Kumagai, K., Kamiya, S.	胃外科	Prospective feasibility study for single-tracer sentinel node mapping by ICG (indocyanine green) fluorescence and OSNA (one-step nucleic acid amplification) assay in laparoscopic gastric cancer surgery.	Gastric Cancer, 22 (4): 873-880, 2019 Jul	Original Article
100	Takahashi, K., Watanabe, M., Kozuki, R., et al.	食道外科	Prognostic significance of skeletal muscle loss during early postoperative period in elderly patients with esophageal cancer.	Ann. Surg. Oncol., 26 (11): 3727-3735, 2019 Oct	Original Article

101	Sasaki, T., Harada, S., Yamamoto, S., et al.	感染症科	Clinical characteristics of peripheral venous catheter-associated gram-negative bloodstream infection among patients with malignancy	PLoS One, 15 (1): e0228396, 2020 Jan (オンライン)	Original Article
102	Yoshida, A., Watanabe, M., Okubo, A., et al.	眼科	Clinical characteristics of scleritis patients with emphasized comparison of associated systemic diseases (anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis and rheumatoid arthritis).	Jpn. J. Ophthalmol., 63 (5): 417-424, 2019 Oct	Original Article
103	Ishiyama, M., Relyea-Chew, A., Longstreth, W. T., et al.	画像診断部	Impact of decompressive craniectomy on brain perfusion scintigraphy as an ancillary test for brain death diagnosis.	Ann. Nucl. Med., 33 (11): 842-847, 2019 Nov	Original Article
104	Akiyoshi, T., Toda, S., Tominaga, T., et al.	大腸外科	Prognostic impact of residual lateral lymph node metastasis after neoadjuvant (chemo)radiotherapy in patients with advanced low rectal cancer.	BJS Open, 3 (6): 822-829, 2019 Jun	Original Article
105	Ide, D., Saito, S., Ohya, T. R., et al.	下部消化管内科	Colorectal endoscopic submucosal dissection can be efficiently performed by a trainee with use of a simple traction device and expert supervision.	Endosc. Int. Open, 7 (6): E824-E832, 2019 Jun (オンライン)	Original Article
106	Konishi, T., Shimada, Y., Hsu, M., et al.	大腸外科	Contemporary validation of a nomogram predicting colon cancer recurrence, revealing all-stage improved outcomes.	JNCI Cancer Spectrum, 3 (2): pkz015, 2019 Jun (オンライン)	Original Article
107	Oba, A., Ishizawa, T., Mise, Y., et al.	肝胆膵外科	Possible underestimation of blood loss during laparoscopic hepatectomy.	BJS Open, 3 (3): 336-343, 2019 Jun	Original Article
108	Saiki, M., Iijima, Y., Honda, T.,	呼吸器内科	Coexistence of dementia with smear-positive pulmonary tuberculosis is associated with patient in-hospital mortality	Respir. Investig., 57 (4): 354-360, 2019 Jul	Original Article
109	Suzuki, A., Yotsuyanagi, T., Yamashita, et al.	形成外科	Reconstruction of the congenital divided nevus of the eyelids and proposal of new classification	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 7 (6): e2283, 2019 Jul(オンライン)	Original Article
110	Yonekura, R., Horii, R., Iwase, T., et al.	乳腺外科	A diagnostic strategy for breast calcifications based on a long-term follow-up of 615 lesions	Jpn. J. Radiol., 37 (3): 237- 244, 2019 May	Original Article
111	Yoshida, R., Watanabe, C., Yokoyama, S., et al.	臨床遺伝医療部	Analysis of clinical characteristics of breast cancer patients with the Japanese founder mutation <i>BRCA1</i> L63X	Oncotarget, 10 (35): 3276- 3284, 2019 May	Original Article

112	Yoshimatsu, H., Hayashi, A., Yamamoto, T., et al.	形成外科	Visualization of the “Intradermal Plexus” and clinical applications of the dermis flap: A new step beyond perforator flaps	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 7 (11): e2411, 2019 Nov (オンライン)	Original Article
113	Harada, S., Aoki, K., Yamamoto, S., et al.	感染症科	Clinical and molecular characteristics of <i>Klebsiella pneumoniae</i> causing bloodstream infections in Japan: occurrence of hypervirulent infections in healthcare.	J. Clin. Microbiol., 57 (11): e01206-19, 2019 Oct (オンライン)	Original Article
114	Hatamori, H., Saito, S., Ide, D., et al.	下部消化管内科	Neuroendocrine carcinoma of the colon: a rare case arising from a serrated polyp.	Gastrointest. Endosc., 90 (6): 984-985, 2019 Dec	Case report
115	Ishioka, M., Hirasawa, T., Kawachi, H., et al.	上部消化管内科	Enterochromaffin-like cell neuroendocrine tumor associated with parietal cell dysfunction.	Gastrointest. Endosc. 90 (5): 841-845.e1, 2019 Nov	Case report
116	Koyama, M., Terauchi, T., Koizumi, M., et al.	核医学部	Granulomatous myositis showing fluctuating "Leopard-Man" sign: A case report on FDG PET/CT imaging	Clin. Nucl. Med., 44 (12): 961-963, 2019 Dec	Case report
117	Akiyoshi, T.	大腸外科	Laparoscopic Hartmann procedure with sacrectomy for locally recurrent rectal cancer	Dis. Colon Rectum, 62 (12): 1551, 2019 Dec	Case report
118	Shimada, S., Yoshida, R., Nakashima, E., et al.	臨床遺伝医療部	Five screening-detected breast cancer cases in initially disease-free BRCA1 or BRCA2 mutation carriers.	Breast Cancer, 26 (6): 846-851, 2019 Nov	Case report
119	Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., et al.	呼吸器外科	Co-occurrence of bilateral pneumothorax and pneumoperitoneum.	BMJ Case Rep., 13 (3): e234628, 2020 Mar (オンライン)	Case report
120	Fujiwara, M., Komai, Y., Yuasa, T., et al.	泌尿器科	Pembrolizumab for a patient with metastatic castration - resistant prostate cancer with microsatellite instability - high.	IJU Case Rep., 3 (2): 62-64, 2020 Feb	Case report
121	Hoashi, K., Harada, S., Ishii, Y., et al.	感染症科	Community-acquired liver abscess caused by capsular genotype K2-ST375 hypervirulent <i>Klebsiella pneumoniae</i> isolates.	IDCases, 17: e00577, 2019 Jun (オンライン)	Case report
122	Karakawa, R., Iida, T., Yoshimatsu, H., et al.	形成外科	Functional and aesthetic reconstruction for microtia using the combination of superficial circumflex iliac artery perforator (SCIP) super-thin flap transfer and skin-grafting	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 7 (7): e2312, 2019 Jun (オンライン)	Case report

123	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Miyashita, H., et al.	形成外科	Successful balanced gait after reconstruction of the weight bearing mid plantar region using a free contralateral medial plantar flap	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 7 (9): e2456, 2019 Jul (オンライン)	Case report
124	Minami, Y., Matsumoto, S., Ae, K., et al.	整形外科	An unusual local invasion of synovial sarcoma.	Oxf. Med. Case Reports, 2019 (4): omz024, 2019 Apr (オンライン)	Case report
125	Nagasaki, T., Mise, Y., Honma, S., et al.	大腸外科	Simultaneous laparoscopic left hemicolectomy and spleen- preserving distal pancreatectomy for descending colon cancer with pancreatic invasion	Asian J. Endosc. Surg., 12 (3): 334-336, 2019 Jul	Case report
126	Nakanishi, R., Fukunaga, Y., Nagasaki, T., et al.	大腸外科	Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for ileal lipoma: A case report.	Asian J. Endosc. Surg., 13 (2): 219-222, 2020 Apr	Case report
127	Nakao, M., Noma, D., Ichinose, J., et al.	呼吸器外科	Unique pathological findings of lung adenocarcinoma after unexpected nivolumab treatment, possible different effects on the primary lesion and metastatic lymph nodes: case report.	AME Case Rep., 3: 45, 2019 Nov (オンライン)	Case report
128	Shibata, T.	形成外科	Spinal infarction caused by hypovolemic shock following massive bleeding from stab wounds to the neck.	Trauma Case Rep., 25: 100269, 2020 Dec (オンラ イン)	Case report
129	Yagi, S., Ida, S., Ohashi, M., et al.	胃外科	Two cases of a perforated duodenal diverticulum after gastrectomy with Roux-en-Y reconstruction.	Surg. Case Rep., 5 (1): 169, 2019 Nov (オンライ ン)	Case report
130	Goto, H., Mun, M., Mori, S., et al.	呼吸器外科	Thoracoscopic partial lung resection following pneumonectomy: a report of three cases.	J. Cardiothorac. Surg., 14 (1): 183, 2019 Nov	Case report
131	Omi, M., Kanao, H., Aoki, Y., et al.	婦人科	Minimally invasive diagnostic and therapeutic surgery for an intra-abdominal desmoid tumor: A case report.	Gynecol. Oncol. Rep., 32: 100560, 2020 Mar (オン ライン)	Case report
132	Nakano, K., Takahashi, S.	総合腫瘍科	Precision medicine in soft tissue sarcoma treatment.	Cancers, 12 (1): pii: E221, 2020 Jan (オンライン)	Review
133	Osumi, H., Shinozaki, E., Yamaguchi, K., et al.	消化器化学療法科	Clinical utility of circulating tumor DNA for colorectal cancer.	Cancer Sci., 110 (4): 1148- 1155, 2019 Apr	Review

134	Shiga, T., Hiraide, M.	総合診療部	Cardiotoxicities of 5-Fluorouracil and Other Fluoropyrimidines	Curr. Treat. Options Oncol., 21 (4): 27, 2020 Mar (オンライン)	Review
135	Kawachi, H.	病理部	Histopathological diagnosis of ulcerative colitis-associated neoplasia.	Dig. Endosc., 31 Suppl 1: 31-35, 2019 Apr	Review
136	Osumi, H., Kawachi, H., Yoshio, T., et al.	上部消化管内科	Clinical impact of Epstein-Barr virus status on the incidence of lymph node metastasis in early gastric cancer.	Dig. Endosc., 32 (3): 316- 322, 2020 Mar	Review
137	Nakanishi, R., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., et al.	大腸外科	Laparoscopic and robotic lateral lymph node dissection for rectal cancer.	Surg. Today, 50 (3): 209- 216, 2020 Mar	Review
138	Watanabe, M., Otake, R., Kozuki, R., et al.	食道外科	Recent progress in multidisciplinary treatment for patients with esophageal cancer.	Surg. Today, 50 (1): 12-20, 2020 Jan	Review
139	Comert, M., Yoshimatsu, H.	形成外科	The uppercut needle holding technique for facilitating second suture placement during back wall microvascular anastomosis.	Microsurgery, 40 (2): 280- 281, 2020 Feb	Letter
140	Karakawa, R., Yano, T., Shibata, T., et al.	形成外科	Use of the wearable smart glasses for indocyanine green (ICG) angiography of a flap surgery.	Microsurgery, 40 (2): 276- 277, 2020 Feb	Letter
141	Yamaguchi, T., Kinugasa, Y., Mori, K. et al.	大腸外科	Oncological outcomes of robotic-assisted laparoscopic lateral lymph node dissection for rectal cancer.	Ann. Laparosc. Endosc. Surg., 4: 56, 2019 Jul	Letter
142	Konishi, T., Shinozaki, E.	大腸外科	ASO author reflections: Combining intensive neoadjuvant therapy with minimally invasive surgery: A promising future strategy for rectal cancer with high-risk features.	Ann. Surg. Oncol., 26 (Suppl 3): 753-754, 2019 Dec	Others
143	Suzuki, T., Akiyoshi, T.	大腸外科	ASO author reflections: Comparison of prognostic impact of various systemic inflammatory markers for stage II/III colon cancer.	Ann. Surg. Oncol., 27 (3): 853-854, 2020 Mar	Others
144	Okamura, A., Watanabe, M.	食道外科	Author's Reply: Significance of intramural metastasis in patients with esophageal squamous cell carcinoma: An indicator of aggressive cancer behavior.	World J. Surg., 43 (10): 2649-2650, 2019 Jun	Others

145	Mine, S., Watanabe, M.	食道外科	Reply to 'Is there really no difference of mediastinal lymph node metastasis pattern between esophageal adenocarcinoma and squamous cell carcinoma?'.	Dis. Esophagus, 32 (7): doz044, 2019 May	Others
146	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial comment from Dr Yuasa to Clinicopathological features of malignant urachal tumor: A hospital-based cancer registry data in Japan.	Int. J. Urol., 27 (2): 163, 2020 Feb	Others
147	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial comment to docetaxel-based chemotherapy combined with dexamethasone 1 mg daily oral administration for castration-resistant prostate cancer: Long-term outcomes	Int. J. Urol., 26 (8): 803, 2019 Aug	Others
148	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial comment to comparison of the predictive value among inflammation-based scoring systems for bleomycin pulmonary toxicity in patients with germ cell tumors	Int. J. Urol., 26 (8): 819, 2019 Aug	Others
149	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial comment to Possible abscopal effect in urothelial carcinoma of the upper urinary tract after treatment with immune checkpoint inhibitors	IJU Case Rep., 3 (1): 27- 28, 2019 Dec	Others
150	Yuasa, T.	泌尿器科	Editorial comment to syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion as a side effect of chemotherapy for testicular cancer: report of a case	IJU Case Rep., 2 (6): 330, 2019 Oct	Others
151	Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., et al.	呼吸器外科	A novel procedure of thoracoscopic 4L lymph node dissection: 4L posterior first technique.	J. Vis. Surg., 6: 11, 2020 Jan (オンライン)	Others
152	Kato, K., Omi, M., Fusegi, A., et al.	婦人科	Modified posterior pelvic exenteration with pelvic side-wall resection requiring both intestinal and urinary reconstruction during surgery for ovarian cancer.	Gynecol. Oncol., 155 (1): 172-173, 2019 09 (オンラ イン)	Others

8

計152件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合には、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限り。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 (1) 総則(用語、秘密の保全、モニタリング・監査及び厚生労働大臣等が実施する調査への協力) (2) 倫理審査委員会の業務(役割・責務、設置・構成、審査、委員長・副委員長の責務) (3) 他の研究機関の研究審査等の取り扱い (4) 倫理審査委員会事務局の業務 (5) 記録の保存(保存期間、保存場所、廃棄)	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 (1) 利益相反の定義、申告の対象者、申告すべき事項 (2) 利益相反マネジメントの管理責任者 (3) 利益相反委員会の設置、構成、業務・活動 (4) 利益相反マネジメントの実施手順 (5) 罰則	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年5回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 ○研究者倫理に関する講習会 ～2019年4月開催 ○GCPオリエンテーション（倫理指針及びGCPの解説、並びに実施手順の説明）～2019年6月開催 (注) 前年度の実績を記載すること。	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各コース、プログラムに従い研修を進める。各コースプログラムのローテーションでは、選択したコースプログラムに関連する診療科部門を3ヶ月から最大12ヶ月の期間で研修を行う。研修にあたっては、各コースとも、教育責任者1名と指導医を複数名配置し、指導は学会専門医などの資格を有する者が中心となり、チーム全体での指導が受けられる体制をとっている。

また、各カンファレンスにも参加し、特にカンサーボードでの検討に基づく集学的医療を実践する。加えて基礎的ながん研究を行うがん研究所も併設しており、専門の研究者との交流も行い知識を深めてもらう。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	156人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
西尾 誠人	呼吸器内科	呼吸器センター長	31年	
藤崎 順子	消化器内科	部長	37年	
高野 利実	乳腺内科	部長	22年	
文 敏景	呼吸器外科	部長	23年	
渡邊 雅之	消化器外科	部長	30年	
大野 真司	乳腺外科	乳腺センター長	36年	
金尾 祐之	婦人科	部長	23年	
三谷 浩樹	頭頸科	部長	32年	
阿江 啓介	整形外科	部長	27年	
米瀬 淳二	泌尿器科	部長	34年	
横山 雅大	血液腫瘍科	副部長	26年	
高橋 俊二	総合腫瘍科	部長	37年	
中山 耕之介	皮膚科	部長	30年	
清水 研	腫瘍精神科	部長	22年	
横田 美幸	麻酔科 救急部 感染症科	部長	40年	
矢野 智之	形成外科	部長	20年	
辻 英貴	眼科	部長	28年	
川原 玲子	緩和治療科	部長	39年	
吉岡 靖生	放射線治療部	部長	25年	
松枝 清	画像診断センター	画像診断センター長	34年	
河内 洋	病理部	部長	23年	
富塚 健	歯科	部長	34年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況(任意)
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況(任意)
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ■全国のリンパ浮腫治療に関わる医療者の育成 (対象:医師・看護師・理学療法士・作業療法士) ・研修の期間・実施回数・参加人数 2019年4月26日～4月27日 レビューコース (16名) 2019年4月26日～5月6日 セラピーコース (12名) ■がん医療従事者研修会 (対象:医師・薬剤師・看護師・診療放射線技師) ・研修の期間・実施回数・参加人数 2019年9月8日 がん診療棟に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 (29名) 2019年11月16日 薬剤師研修会 (83名) 2019年12月8日 看護師研修会 (177名) 2019年12月15日 放射線腫瘍医研修会 (37名) 2020年2月1日 がんの薬物療法研修会 (73名) 2020年2月2日 がんの診療等に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 (17名)

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	佐野 武	
管理担当者氏名	各管理責任部署の長	

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第二項に	病院日誌	院長室	病院日誌は、院長室、各診療科医局、処方せんは薬剤部。他、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、患者に係る入院経過の要約及び入院飲料計画書は電子カルテ等によるシステム管理。紹介状の原本については、診療情報管理室にて保管。診療録を病院外に持ち出す際の取り扱いについては、原則、禁止としている。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	手術室	
		看護記録	IT推進課	
		検査所見記録	IT推進課	
		エックス線写真	IT推進課	
		紹介状	診療情報管理室	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	IT推進課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第三項に掲	従業者数を明らかにする帳簿	人事部	人事部で作成管理。
		高度の医療の提供の実績	臨床研究・開発センター事務室	先進医療の年度報告をファイル保管。
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	学術研究委員会の活動記録(議事録等)を保管。
		高度の医療の研修の実績	人事部	人事部にてファイル保管。
		閲覧実績	各管理責任部署	開示請求に基づき各管理責任部署が対応。
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事部及びIT推進課	電子カルテによるシステム管理。
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事部及び薬剤部	医事システム。但し、調剤数は薬剤システムでデータを管理。
	掲げる事項 規則第一條の十一第一項に掲	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	医療安全管理委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び、共有ファイルにデータ保管。
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	医療安全職員研修会の開催記録をファイル保管。
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	各現場からのIAレポート報告及びその改善のための医療安全管理委員会等での検討内容をファイル保管。

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策部 ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策部 院内感染対策委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策部 院内感染対策研修会の開催記録をファイル保管。
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策部 各現場からのレポート報告及びその改善のための委員会等での検討内容をファイル保管
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部 医薬品安全管理責任者を配置
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 医薬品の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 薬剤部にてファイル保管。
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医薬品情報管理室にて医薬品情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。
		医療機器安全管理責任者の配置状況	MEセンター 医療機器安全管理責任者を配置。
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター 医療機器の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	購買課 自主点検及びメーカー等による保守点検記録等をファイル保管。
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	購買課 購買課にて医療機器情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課 医療安全管理責任者を配置し、組織図で明示。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療クオリティマネジメントセンター 院内感染対策の専任者を配置。
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部 薬剤部にてファイル保管。
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課 インフォームドコンセント委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室 診療情報管理委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		医療安全管理部門の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター 医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理部、院内感染対策部、クオリティインプループメント部、医療クオリティマネジメントセンター事務室、高難度新規医療技術管理部、未承認新規医薬品等管理部を統括している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター 平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに高難度新規医療技術管理部を設置。
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター 平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに未承認新規医薬品等管理部を設置。
		監査委員会の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター 平成28年8月10日付で監査委員会を設置。
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療クオリティマネジメントセンター 医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター 医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室 患者相談室でファイル保管。
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査コンプライアンス室 監査コンプライアンス室でファイル保管。
		職員研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター 医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター 医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。

	管理者が有する権限に関する状況	総務部	総務部でファイルにて保管。
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	監査室	監査室でファイルにて保管。
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部	総務部でファイルにて保管。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	佐野 武		
閲覧担当者氏名	総務部 山崎周士		
閲覧の求めに応じる場所	総務課、患者相談窓口、相談室等		
閲覧の手続の概要			
総務課、患者相談窓口にて閲覧申請の初期対応を実施。申請内容により各記録の担当者へ連絡、閲覧の承認を得た後、申請者へ連絡・閲覧を実施する。			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11 第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無								
・ 指針の主な内容: 第1 医療安全管理に関する基本的考え方 第2 医療安全管理委員会・組織に関する基本事項 第3 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 第4 アクシデント報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 第5 重大事故発生時の対応に関する基本方針 第6 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 第7 患者からの相談への対応に関する基本方針 第8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針									
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況									
・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況: 年 12 回 ・ 活動の主な内容: 1) 医療安全管理のための指針の策定および改訂ならびに職員への周知 2) 医療安全に係る問題の調査および分析 3) 前号の結果を活用し、改善のための方策の企画立案および実施 4) 前号の改善のための方策の職員への周知 5) 改善のための方策の実施状況の調査および必要に応じて当該方策の見直し 6) 入院患者死亡報告および重大事故報告の状況確認および病院長への確認結果の報告 7) 前号の実施状況が不十分な場合の職員への研修および指導 8) その他、医療に係る安全管理のための業務									
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年4回								
・ 研修の内容(すべて): <table border="0"> <tr> <td>1) 全体研修:「Never Events ～起きてはならないこと～」</td> <td>2019年5月22日</td> </tr> <tr> <td>2)「事例から学ぶ、治験の基本」</td> <td>2019年8月23日</td> </tr> <tr> <td>3)「がん研化学療法安全管理」</td> <td>2019年11月15日</td> </tr> <tr> <td>4) 全体研修:「医療安全への二つのアプローチ Safety I & Safety II」</td> <td>2019年12月10日</td> </tr> </table>		1) 全体研修:「Never Events ～起きてはならないこと～」	2019年5月22日	2)「事例から学ぶ、治験の基本」	2019年8月23日	3)「がん研化学療法安全管理」	2019年11月15日	4) 全体研修:「医療安全への二つのアプローチ Safety I & Safety II」	2019年12月10日
1) 全体研修:「Never Events ～起きてはならないこと～」	2019年5月22日								
2)「事例から学ぶ、治験の基本」	2019年8月23日								
3)「がん研化学療法安全管理」	2019年11月15日								
4) 全体研修:「医療安全への二つのアプローチ Safety I & Safety II」	2019年12月10日								
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況									
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: 1) 当事者または発見者がIAレポートシステムを用いてIA報告を行う。 2) 各部署にてRMを中心として必要時にRCA分析などにより事例の検討を行う。 3) RM部会でIA報告の事例共有、改善の検討または依頼を行う。必要時には医療安全管理委員会へ上申する。 4) 各部署またはRM部会にて立案した改善案をもとに、医療安全管理委員会で改善策を検討、決定する。 5) 病院管理者連絡会議や部署RM連絡会などで事例と改善策を周知する。 6) 改善策の実施後、モニタリングなどで改善策の効果の評価を行う。									

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容: 1) 院内感染対策に関する基本的考え方 2) 院内感染対策のための委員会等病院感染対策の組織に関する基本的事項 3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 4) 感染症の発生状況に関する基本方針 5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7) その他院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容: 1) 院内感染対策マニュアルの作成および最新の科学的・公衆衛生学的情報を踏まえた定期的な改訂 2) 院内感染対策の実施状況の報告と改善策の立案 3) 院内の感染症発生状況のサーベイランス結果の報告と結果を踏まえた改善策の立案 4) アウトブレイクあるいは重要感染症発生時(疑い時を含む)の状況・対応報告と改善策の立案 5) 院内感染に関する情報収集・共有および内外への情報発信の検討 6) 職業感染予防策の実施状況の報告と改善策の立案 7) 抗菌薬使用状況・多剤耐性菌等のサーベイランス情報の共有と改善策の立案 8) その他、院内感染対策及びその防止にかかわるすべての事項	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年49回
・ 研修の内容(すべて): 1) 新入職員研修:「感染管理、感染症診療について」(1回) 2) 看護部新規看護師採用者オリエンテーション:「感染予防・対策、標準予防策 他」(3回) 3) 中途採用者(新採用者)オリエンテーション:「感染管理・感染症診療について」(11回) 4) ボランティア研修:「感染対策について」(1回) 5) ランゲージサポーター研修(1回) 6) 病院全体研修:「院内感染対策について/抗菌薬の適正使用について」(1回) 「院内感染対策について/抗菌薬の適正使用について」(1回) 7) 委託清掃スタッフ研修:「手指衛生」(2回) 8) 「感染経路別予防策」(2回) 9) 委託リネンスタッフ研修:「手指衛生」(2回) 10) 委託警備スタッフ・設備整備スタッフ研修:「感染経路別予防策」(4回) 11) 委託中材スタッフ研修:「標準予防策」(1回) 12) 委託物品管理スタッフ研修:「手指衛生」(2回) 13) 看護助手研修:「環境整備」(2回) 14) リンクナース研修:「末梢静脈カテーテル関連血流感染症」「標準予防策」「環境整備」(3回) 学術研究講演会「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた医療 関連感染対策」(1回) 15) 感染症勉強会:「化学療法部オリエンテーション 感染症の管理」(1回) 16) 医事課職員研修「感染経路別予防策」(1回) 17) 感染対策担当者会議レクチャー「陰圧個室・排菌結核」「A群β溶連菌アウトブレイク」「手足口病について」「 手足口病 抗菌薬の出荷制限」「MDRPについて」「タゾピペの出荷制限について」「インフルエンザ流行シ ーズンへ」「院内での带状疱疹・水痘の管理」「新型コロナウイルス感染症に対する当院での対応について 」(10回)	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: 1) 感染対策および感染症診療に関するコンサルテーション体制の整備 2) 院内ラウンドを行い、感染対策に関する問題点の把握・分析、対策の立案、実施・評価 3) 感染症発生状況および感染対策に関する情報提供(感染情報レポート・ICTニュースを作成し、院内	

ネットワーク掲示板に掲載)

- 4) 院内感染対策マニュアルの整備
- 5) 職業感染予防策の実施(ウイルス抗体価測定、ワクチン接種、針刺し・粘膜曝露対応)
- 6) 手指衛生の指導と実施状況のモニタリング
- 7) 院内感染対策実施のための院内の各部門・部署との連携

(注)前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年35回
・ 研修の主な内容: (1) 医薬品安全管理研修会(1回) ・ 「麻薬の管理と過去の事例から学ぶ医療安全」(2019.6.6) ・ 「持参薬の管理と過去の事例から学ぶ医療安全」(2020.3.12予定だったが、COVID-19感染拡大のため集合型研修中止)⇒2020.7WEB開催 (2) 新入職者を対象とする入職時研修(1回) ・ 「薬の取り扱い～抗がん薬と麻薬を中心に～」(2019.4.1) (3) 中途採用者・復職者を対象とする研修(11回) ・ 「薬の取り扱い～抗がん薬と麻薬を中心に～」(毎月第1診療日) (4) 外来・各病棟単位での看護師、スタッフを対象とした共通研修 ・ 第1回「適切な薬剤投与のために(新入職看護師向け)」(2019.8/7-9/25、計22回) ・ 第2回「薬袋表記の見方(変更点を中心に)」(2020.3 COVID-19のため中止、⇒2020.5に延期)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容: (1) 手順書の定期的な見直し ・ 年1度の定期的見直し。改訂時は、医療安全管理委員会の承認を得て改訂(最終改訂2020.1.25) (2) 手順書に基づく業務の実施 ・ 各病棟担当薬剤師(医薬品安全管理担当補助者)は、週1回、業務チェックリストにより当該部署の状況を確認する。 ・ 医薬品安全管理担当者(医薬品管理室長)と病棟担当薬剤師は、週1回の連絡会議を開き、情報共有を図る。 ・ 医薬品安全管理責任者は、医薬品安全管理担当者の作成した「病棟等における医薬品管理チェック」についての報告書により報告を受け、必要に応じて対策を立案し必要な指示をする。 ・ 医薬品安全管理担当者は、当該部署に周知するとともに、薬剤部スタッフにも周知する。 ・ 医薬品安全管理責任者は、医薬品安全管理委員会に報告し、必要に応じて、病院運営会議、診療部長会議等にも報告して周知する。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば): 未承認薬 0件 適応外使用 ① 抗がん薬(術後補助化学療法等): ゼローダ(9)、TS-1(5) ② 希少がん等 12レジメン 12件 Abraxane(1)、カルセド(1)、CPT-11/Beva(1)、カルボプラチン(1)、VP-16/CDDP(1)、VP-16/CBDCA(1)、FOLFORI(1)、パゾパニブ(1)、SOX(1)、FP/RT(1)、アリムタ(1)、オブジーボ(1) ③ irAE等抗がん薬治療による副作用対策(支持療法)5薬剤 16件 セルセプト(2)、ネオオラル(2)、レミケード(1)、デカドロンエリキシル(10)、ホスカビル(1) ④ その他 15薬剤 52件	

ウロナーゼ(膿胸、1)・エホチール(難治性乳糜胸、2)・オクトレオチド(術後リンパ漏、8)・ゲーフィス(ESD検査前で剤、30)・フルタイドロタディスカス(好酸球性食道炎、1)、フルタイドエアゾル(食道狭窄予防、1)、ポプスカイン(鎮痛増強、1)、インジゴカルミン(瘻孔部特定、1)・フロリネフ(低Na血症、1)、グラニセトロン(胆管炎による悪心)、モニラック(注腸、1)、エンドキサン(間質性肺炎、1)、フィブリノゲンHT(術中大量出血、1)、ケイツーN(低プロトロンビン血症、適応外用量、1)ボグリボース(DM適応外用量、1)

禁忌 0件

- ・ その他の改善のための方策の主な内容:
 - ・PMDA メディナビに登録し、情報収集
 - ・学会誌、業界紙等の定期購読
 - ・MR 面談時間の設定による情報収集
 - ・医薬品情報担当薬剤師、病棟担当薬剤師等による副作用発生等の情報把握

(注)前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 62 回
・ 研修の主な内容： ・人工呼吸器の取り扱いについて ・血液浄化装置について ・除細動器について ・輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いについて ・リニアックについて ・診療用放射線照射装置について	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (☒有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ・委託業者による定期点検及び当院臨床工学技士による自主点検 ・人工呼吸器 ・血液浄化装置 ・除細動器 ・診療用高エネルギー放射線発生装置 ・診療用放射線照射装置 ・医用X線CT装置	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 (☒有・無) ・未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：前年度実績なし ・その他の改善のための方策の主な内容： ・安全情報については、行政・PMDAからの情報を確認し、また製造販売業者からの通知、新聞記事などから情報収集し、当院該当機器については医療機器安全管理委員会で検討し、各部署へ周知する。また、電子カルテ上に医療機器安全管理の掲示板を設置し、随時、情報を職員に提供している。 ・院内で起きたIA事例についてはイントラネットを活用し、医療安全通信に掲載して全体へ情報発信し、注意喚起を行っている。 ・不具合が生じた医療機器に関しては、ただちにPMDAへ報告をし、改善を求める。	

(注)前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
・責任者の資格(医師・歯科医師) ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者は、医療安全管理委員会の委員長を務めており、委員会の運営の中で、委員会委員として参加している医薬品安全管理責任者ならびに医療機器安全管理責任者に活動状況を報告させている。また、医療クオリティマネジメントセンター長として、医療安全管理部ならびに院内感染対策部を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有(9名)・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 (1)医薬品管理室に専従薬剤師 2 名、専任薬剤師 1 名を配置し、情報の収集・整理・周知及び周知状況の確認を実施している。 (2)情報の収集と整理 ・PMDA メディナビ、RMP 等による情報収集 ・学会誌、業界紙等の定期購読 ・MR 面談時間の設定による情報取 ・医薬品情報担当薬剤師、病棟担当薬剤師等による副作用発生等の情報把握 (3)情報の周知と確認 ・情報のレベル分けを行い、Level に応じた情報発信と確認を実施している。 - LevelA: (イエローレター、ブルーレター、リコール情報等) - LevelC に加えて、処方医、処方患者を特定して個別に情報提供 ⇒周知内容、周知した処方医を記録 - LevelB: (医薬品安全性情報、適応症追加、禁忌事項等) - LevelC に加えて、診療科カンファランス等を通して担当薬剤師による直接伝達 ⇒ 周知した内容、カンファランス出席者を記録 - LevelC: DI ニュース、院内 LAN 等による情報周知 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 (1)未承認薬 ・治験・臨床研究 ⇒IRB(臨床研究等倫理審査委員会)で審議、承認 ・試薬等を用いる特殊院内製剤 ⇒薬事審査委員会で審議、未承認新規医薬品等管理部で承認 ・患者の持ち込み等(薬剤師による入院時持参薬確認で把握)⇒使用に際しては未承認新規医薬品等管理部で承認 (2)適応外使用 ・希少がん等に対する治療 ⇒SRB(レジメン審査会)で審議、化学療法部運営委員会で承認、未承認新規医薬品等管理部で把握 ・公知申請 ⇒医事部、薬剤部医薬品情報管理室で把握、未承認新規医薬品等管理部でも把握	

・その他 ⇒ 薬剤師による処方監査時及び病棟カンファ等を通じて医薬品情報管理室で把握 (3) 禁忌 ・相互作用禁忌 ⇒ オーダリングシステムで一次チェック、薬剤師による処方監査時の確認 ・適応禁忌 ⇒ 薬剤師による処方監査時及び病棟カンファ等で把握 (4) 未承認新規医薬品等管理部に部門長として以下の業務を実施 ・未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件の決定、使用状況の把握(月1回) ・病院長への定期的な報告(月1回) ・記録の保管 ・担当者の指名の有無 (☒ 有・無) ・担当者の所属・職種: (所属: 薬剤部 , 職種 医薬品管理室長) また、その他に各病棟等担当者を医薬品安全管理担当補助者に指名し、担当者と連携をとる体制としている。	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (☒ 有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容: 規程に定められた事項の遵守状況の確認については、当該の委員会によらず、別委員会(診療情報管理委員会)で量的監査した結果報告を踏まえ、検証確認している。指導の主な内容としては、各診療科で作成する手術、検査同意説明書の標準的な説明内容、その他必要な事項や適切な書類になっているかの管理と確認を行っている。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容: 診療録等の管理や記載内容の確認および指導は、診療情報管理委員会が統括し、同委員会と診療情報管理室および関連する院内各部が連携して実施した。診療情報管理委員会委員長は診療録等管理責任者を兼務している。 診療情報監査は、委員長1名と医師委員3～6名による主査副査方式による診療録質的監査と、薬剤部による薬剤管理記録監査、栄養管理部による栄養管理記録監査、看護部による看護記録監査、診療情報管理士による診療録等の量的監査から構成される。量的監査は指定した診療科・退院患者1ヶ月分の監査を行った。質的監査は、毎月当該診療科を指定月に退院または初回外来受診した患者の中から退院患者3～6名と外来患者3～6名分をランダムに抽出して実施した。またIC委員会と連携し、説明同意の内容記録についても監査した。 上記の監査結果は診療情報管理委員会にて審議し、当該診療科部長へ報告し不備については改善を勧告した、月一回定期開催される病院管理者連絡会議とIC委員会にも報告した。監査の結果で不備が多い診	

療情報項目については、改善勧告後に期間をおいて再監査を行った。特に問題のある診療録記載内容については、診療情報管理委員会委員長が当該医師・職員に面談し口頭指導することになっているが、該当する記載はなかった。

具体的な診療録記載に関する監査項目は以下である。

- 1) 整理された順に沿って閲覧するだけで患者の全体像が把握できる
- 2) 診療の都度、遅滞なく速やかに記載されている
- 3) 各プロブレムが SOAP で記載されている
- 4) 日本語で記載されており、外国語・略語は使用していない
- 5) コピー＆ペーストは多用されていない
- 6) 事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない
- 7) 患者家族の希望が客観的に記載されている
- 8) 誤字・脱字が認められない
- 9) 医師・スタッフの私的メモや備忘録は記載されていない
- 10) 感情的な記載など不適切な表現がない
- 11) IC 時の説明内容がフォーマットの則り、わかりやすく記載されている
- 12) 病理診断・画像診断・血液検査等の結果を確認し要約を記載している
- 13) 正しい ICD-10 病名がついている
- 14) 入院期間について、部長回診の記録の有無・処置や処方指示の記載、変更、訂正は正しく行われている・クリニカルパスの評価がされている
- 15) 退院サマリーの記載評価として、正確かつ、他者から見て分かりやすい内容である

前年度の監査実績：頭頸科・呼吸器内科・呼吸器外科・乳腺内科・乳腺外科・消化器内科・消化器外科・泌尿器科・婦人科・整形外科・総合腫瘍科・血液腫瘍科・緩和治療科・皮膚科・眼科・形成外科 1 年間で入院治療のある全診療科の診療録を監査した。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

☒有・無

・所属職員：専従(5)名、専任()名、兼任(5)名
うち医師：専従(1)名、専任()名、兼任(4)名
うち薬剤師：専従(1)名、専任()名、兼任()名
うち看護師：専従(2)名、専任()名、兼任()名
うち臨床工学技士：専従()名、専任()名、兼任(1)名

(注)報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容:

- 1) 専従の医師・看護師・薬剤師・臨床工学技士による医療安全に関する職員の意識の向上や、指導のための教育・研修の実施。
- 2) 医療事故防止の取り組み。日々のインシデント・アクシデント報告をもとに、情報収集・分析・対策の立案、必要な指導を実施。
- 3) 医療安全管理委員会で検討を行う事例の調査ならびに資料作成。
- 4) 医療安全通信の発行や医療事故情報の配信。
- 5) 院内死亡および重大事例への対応。事実の確認と検証を行い、有害事象調査委員会の資料作成および再発防止策の検討、策定、評価の実施。
- 6) 日本医療機能評価機構、医薬品医療機器総合機構などへの事故等報告書の作成および報告。
- 7) 週1回、院内3カ所の医療安全ラウンドを実施し、職員の医療安全に関する知識や実際の現場状況を確認。
- 8) 部署リスクマネージャー連絡会、リスクマネージャー部会の開催。
- 9) 医療安全研修会の企画立案および実施。
- 10) 新入職員ならびに復職者への研修の実施(中途採用を含む)。
- 11) 医療安全監査委員会の実施。
- 12) 特定機能病院間の相互訪問の実施

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数(3件)、及び許可件数(2件)

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無(☒ 有・無)

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無(☒ 有・無)

・活動の主な内容:

- 1) 高難度新規医療技術評価委員会に対し、高難度新規医療技術の提供の適否、実施の条件等について意見を求め、高難度新規医療技術の提供の適否、実施条件等を決定する。
- 2) 定期的な手術記録、診療録等の記載内容の確認等、高難度新規医療技術の提供に関する従業者の遵守状況を確認すること。
- 3) 病院長への定期的な報告
- 4) 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無(☒ 有・無)

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無(☒ 有・無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数(13件)、及び許可件数(13件)

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無(☒ 有・無)

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無
(☒有・無)

・活動の主な内容:

- 1) 未承認新規医薬品等評価委員会に対し、使用の適否、使用条件等について意見を求め、未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等を決定する。
- 2) 定期的な診療録等の記載内容の確認等、その使用についての遵守状況の確認
- 3) 病院長への定期的な報告
- 4) 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無(☒有・無)

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (☒有・無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況: 年 483件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況: 年 285件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

オンラインシステムを用いて、担当医が医療安全管理部へ死亡報告書を提出する。医療安全管理部では報告書の記載内容を確認し、さらに情報収集も行いリスト化し、病院長へ毎日報告を行う。医療安全管理委員会では、定例議題として前述の入院患者死亡報告及び重大事象報告を共有しており、医療安全管理部が確認した内容と共に各事例を検討・評価し、医療安全管理委員会委員長(医療安全管理責任者)が検討・評価結果を添えて病院長へ報告する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り(☒有(病院名: 東京慈恵会医科大学附属病院)・無)

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ(☒有(病院名: 東京慈恵会医科大学附属病院)・無)

・技術的助言の実施状況

- 1) インシデント報告件数全体の中で、レベル0～1の報告件数の割合が若干少ない。今後増加させるための方策を検討願いたい。
→2019 度より患者影響レベル評価基準を変更しているため、報告件数の割合については推移を見守っている状況にある。2019 年度末に評価を行い、院内研修の実施や周知の強化などの方策の検討を行う。

- 2) 院内の死亡例報告について全例の詳細を把握できるような仕組みを構築願いたい。
→すでに構築されており、訪問受け入れ時の説明が不十分であったと思われる。
- 3) 院内で実施されているラウンドでPDCAサイクルを回すためにも指摘された内容をどのように改善しているかの確認願いたい。
→改善策および実施期限の項目を設けるなど、ラウンド結果様式の変更を行った。また、再評価の実施時期も短縮し複数回実施しており、PDCA サイクルを実施している。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談窓口に、医療安全の内容を含む相談の担当者として、専従の看護師(看護師長)を配置。

患者より相談が発生した場合の対応方法は、担当師長より、当該部署に内容照会を行うとともに医療安全管理部部門へ報告される。その後、医療安全管理部門の職員、及び関係者合同でカンファレンスを行い、患者への対応方法を検討している。医療安全に関する相談事例は、全て病院長に報告される。

また、相談への対応を行う体制等について、院内掲示・パンフレットでの掲載等を行うことで、患者等に対して周知を図っている。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- | | |
|--|-------------|
| 1) 全体研修:「Never Events ～起きてはならないこと～」 | 2019年5月22日 |
| 2)「事例から学ぶ、治験の基本」 | 2019年8月23日 |
| 3)「がん研化学療法の安全管理」 | 2019年11月15日 |
| 4) 全体研修:「医療安全への二つのアプローチ Safety I & Safety II」 | 2019年12月10日 |
| 5) 全体研修:「特定機能病院の医療安全体制について」 | 2019年12月10日 |
| 6) 新入職員研修: | |
| 2019/4/1、5/7、6/3、7/1、8/1、9/2、10/1、11/1、12/2、2020/1/6、2/3、3/2 | |
| 7) 復職者研修: | |
| 2019/4/1、5/7、6/3、7/1、8/1、9/2、10/1、11/1、12/2、2020/1/6、2/3、3/2 | |

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

役職・氏名: 病院長 佐野 武

研修会名: 公益財団法人日本医療機能評価機構「2019 年度特定機能病院管理者研修」

受講日: 2020 年 2 月 12 日

【医療安全管理責任者】

役職・氏名: 副院長 / 麻酔科部長 / 医療クオリティマネジメントセンター長 横田 美幸

研修会名 : 公益財団法人日本医療機能評価機構「2019 年度特定機能病院管理者研修」
受講日 : 2019 年 10 月 27、28 日

【医薬品安全管理責任者】

役職・氏名: 院長補佐 / 薬剤部長 / 未承認新規医薬品等管理部長 濱 敏弘
研修会名 : 公益財団法人日本医療機能評価機構「2019 年度特定機能病院管理者研修」
受講日 : 2019 年 10 月 11 日

【医療機器安全管理責任者】

役職・氏名: 頭頸科部長 / ME センター長 三谷 浩樹
研修会名 : 公益財団法人日本医療機能評価機構「2019 年度特定機能病院管理者研修」
受講日 : 2019 年 10 月 11 日

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準 ・ 基準の主な内容 1. 当院に求められる使命を遂行するために必要な資質・能力を有している者 当会の使命、価値観、将来展望への理解、その実現にむけたリーダーシップの発揮、継続的かつ確実に病院経営を推進する姿勢と指導力等 2. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 医療安全管理業務の経験や、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等 3. 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 当院内外での組織管理経験、高度な医療を担う医療機関の管理運営上必要な資質・能力等 4. 高度先進医療開発のため、臨床研究について十分な知見を有し、関係する法律や倫理指針を遵守し、病院長として臨床研究を実践・指導する能力を有している者 5. 医師免許を有していること ・ 基準に係る内部規程の公表の有無(☒有・無) ・ 公表の方法 公益財団法人 がん研究会ホームページ https://www.jfcr.or.jp/press_release/disclosure/index.html
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無			
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無(有・無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無(有・無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無(有・無) ・ 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置
及び運営状況

合議体の設置の有無	☒ 有・無
・合議体の主要な審議内容 病院運営会議・・・病院の運営に関する重要事項について 経営会議・・・経営に関する基本的事項及び重要な個別業務の執行に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 病院管理者連絡会議で、各部門リーダーに伝達 院内グループウェア(デスクネッツ)で周知 デジタルサイネージで周知 ・合議体に係る内部規程の公表の有無(☒有・無) ・公表の方法:閲覧の申込みがあれば対応 ・外部有識者からの意見聴取の有無(☒有・無) 理事会・評議員会で報告し、意見を聴いている。	

合議体の委員名簿(病院運営会議)

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
佐野 武	○	医師	病院長
横田 美幸		医師	副院長/麻酔科部長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
大野 真司		医師	副院長/乳腺センター長
小口 正彦		医師	副院長/AI 医療センター長
高橋 俊二		医師	副院長/総合腫瘍科部長
米瀬 淳二		医師	院長補佐/泌尿器科部長
山口 研成		医師	院長補佐/消化器化学療法科部長
濱 敏弘		薬剤師	院長補佐/薬剤部長
奥村 栄		医師	院長補佐/中央手術部長
渡邊 雅之		医師	院長補佐/消化器外科部長
伊藤 良則		医師	院長補佐/化学療法科部長
関 満朗		総合職	医事部長
常田 茂		総合職	健診センター運営部長

合議体の委員名簿(経営会議)

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
馬田 一	○	総合職	理事長
野田 哲生		研究員	代表理事/研究本部長
佐野 武		医師	代表理事/病院本部長

中村 祐輔		研究員	業務執行理事/がんプレシジョン医療研究センター所長
大野 真司		医師	副院長/乳腺センター長
小口 正彦		医師	副院長/AI 医療センター長
高橋 俊二		医師	副院長/総合腫瘍科部長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
藤田 直也		研究員	がん化学療法センター所長
中村 卓郎		研究員	がん研究所副所長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無(☒ 有・無)
- ・ 公表の方法: 閲覧の申込みがあれば、対応。

- ・ 規程の主な内容
 - 職務分掌規程
 - 第10条 病院本部長(本部長代行)は、理事長の命を受けて、病院本部の業務を統括する。
 - 3 病院長(病院長代行)は、病院本部長の命を受けて、病院の業務を掌理し、管理及び運営に必要な人事及び予算執行を行う。
- ・ 管理者をサポートする体制(副院長、院長補佐、企画スタッフ等)及び当該職員の役割
 - 職務分掌規程
 - 第10条の2 病院副本部長、病院本部長補佐は、病院本部長を補佐するものとし、病院本部長に事故があるとき、又は病院本部長が欠けたときは、病院副本部長、病院本部長補佐が職務を代行する。
 - 4 副院長は、病院長の職務を円滑に遂行させるため、病院の管理運営等に関する企画立案に関わるとともに、診療、安全、人事、労務、財務、接遇、看護体制、教育、研修、研究等に関する職務等を補佐・分担するものとし、病院長に事故があるとき、又は病院長が欠けたときは、副院長が職務を代行する。
 - 5 病院長補佐は、副院長とともに病院長の職務を補佐する。
 - 業務分掌規程
 - 第2条の2 経営本部管下の各部は、それぞれ次の業務を分掌する。
 - (3)企画部
 - ④経営幹部の補佐、意思決定サポートに関する事項
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - 外部講師を招いて以下の研修会を実施
 - 【医療人としての適正な医療について】
 - 開催日: 2020年2月3日
 - 対象者: 医長以上(医師)・部長・副部長・師長・課長・室長等の管理職
 - 講師: 関東信越厚生局東京事務所 指導医療官 医学博士 内藤智雄
 - 【がん専門病院 診療報酬改定について】
 - 開催日: 2020年3月2日
 - 対象者: 医師・看護師・技師・薬剤師・事務等
 - 講師: 株式会社 ウォームハーツ 代表取締役 長面川さより
 - 【上杉鷹山のリーダーシップに学ぶ、部下指導の知恵】
 - 開催日: 2020年3月10日
 - 対象者: 医師・看護師・薬剤師
 - 講師: パナソニック ホームズ株式会社 渉外担当特別顧問 小滝 晃
 - 【コンプライアンス全体研修会(e-learning)】
 - 開催日: 2019年3月28日～2020年5月31日
 - 対象者: 全職員対象

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	☒ 有・ ☐ 無
・監査委員会の開催状況: 年 2 回 ・活動の主な内容: 1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者その他必要と認める者の状況について、管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。 2) 必要に応じ、当院の開設者又は管理者に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行う。 3) 上記に掲げる業務について、その結果を公表する。 ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無(☒有・☐無) ・委員名簿の公表の有無(☒有・☐無) ・委員の選定理由の公表の有無(☒有・☐無) ・監査委員会に係る内部規程の公表の有無(☒有・☐無) ・公表の方法: ホームページにて公表 https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html	

監査委員会の委員名簿及び選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
遠山 信幸	自治医科大学附属さいたま医療センター教授	○	医療安全に関する業務および研究への従事経験を有するため	有・ ☒ 無	1(医師)
大滝 恭弘	帝京大学医療共通教育研究センター教授		法曹資格を有し、医療安全に関する研究を行っているため	有・ ☒ 無	1(弁護士)
滝澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を務めており、医療を受ける者の立場の代表となれるため	有・ ☒ 無	2(医療を受ける者)
齊藤 彰一	公益財団法人がん研究会有明病院		前職にて医療安全管理業務に従事した経験を有するため	☒ 有・ ☐ 無	3(医師)

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

- 監事会による監査(月1回)
- がん研なんでも相談所の設置
- 外部監査法人による監査の実施
- 理事会への幹事の出席
- コンプライアンス委員会の結果の経営会議への報告

- ・ 専門部署の設置の有無(☒ 有・無)
- ・ 内部規程の整備の有無(☒ 有・無)
- ・ 内部規程の公表の有無(☒ 有・無)
- ・ 公表の方法 : 閲覧の申込みがあれば対応。

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 理事会を月1回開催(8月以外)し、主として病院の経営状況等、病院運営に関する重要事項について監査。 ・ 会議体の実施状況(年 9 回) ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数(☒有・無)(年 9 回) ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無(☒有・無) ・ 公表の方法 : 閲覧の申込みがあれば、対応。			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称:理事会			
会議体の委員名簿(理事会)			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
馬田 一	(公財)がん研究会 理事長	○	☒ 有・無
野田 哲生	(公財)がん研究会 常務理事・研究本部本部長・がん研究所 所長		☒ 有・無
佐野 武	(公財)がん研究会 常務理事・病院本部本部長・有明病院病 院長		☒ 有・無
中村 祐輔	(公財)がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター所長		☒ 有・無
浅野 敏雄	旭化成株式会社 常任相談役		有・ ☒ 無
跡見 裕	杏林大学 名誉学長		有・ ☒ 無
有富 慶二	ヤマトホールディングス(株) 特別顧問		有・ ☒ 無
石田 忠正	日本貨物鉄道(株) 取締役相談役		有・ ☒ 無
市川 秀夫	昭和電工(株) 取締役 取締役会議長		有・ ☒ 無
伊東 信一郎	ANA ホールディングス株式会社 取締役会長		有・ ☒ 無
上田 龍三	愛知医科大学 教授		有・ ☒ 無
内田 幸雄	ENEOS ホールディングス(株) 特別理事		有・ ☒ 無
榮木 実枝	前(公財)がん研究会 有明病院副院長・看護部長		有・ ☒ 無
草刈 隆郎	前(公財)がん研究会 理事長		有・ ☒ 無
永原 功	北陸電力(株) 相談役		有・ ☒ 無

広瀬 道明	東京ガス(株) 取締役会長		有・ ☐ 無
松井 道夫	松井証券(株) 代表取締役社長		有・ ☐ 無
門田 守人	(地独) 堺市立病院機構 理事長		有・ ☐ 無
柳井 準	三菱商事(株) 顧問		有・ ☐ 無
山下 孝	(公社)日本アイソトープ協会 専務理事		有・ ☐ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無(☒ 有・無)
・通報件数(年 0 件)
・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その 他窓口の設置に関する必要な定めの有無(☒ 有・無)
・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無(☒ 有・無)
・周知の方法 入職時研修会、院内グループウェア(デスクネッツ) マニュアル配布(年 1 回)